

令和2年度 小・中学校における新型コロナウイルス感染症の影響に
関する調査結果を踏まえた学習指導等の改善・充実のポイント

～「学びに向かう力」の育成に向けた授業づくり～



兵庫県マスコット はばタン

はじめに

今年度は、平成19年度から実施されてきた全国学力・学習状況調査が、新型コロナウィルス感染症にかかるその後の状況及び学校教育への影響等を考慮し、中止となりました。

そこで、本県では、令和2年9月に「小・中学校における新型コロナウィルス感染症の影響に関する調査」を実施し、新型コロナウィルス感染症による児童生徒への影響について生活面と学習面からの状況を把握・分析し、その結果をもとに学力向上実践推進委員会を中心に、指導方法の工夫・改善策について検討しました。

今回の調査結果で明らかになった新型コロナウィルス感染症に伴う、①臨時休業中の児童生徒の生活や意識等、②教科に関する調査の結果、③児童生徒の生活の意識等と学力の相関については、学校における児童生徒への指導・支援の充実や学習状況の改善等に役立てていきたいと考えています。

また、今回の調査結果からは、児童生徒が、自ら一日の目標を設定し、計画にしたがって目標達成のために時間を管理する「タイムマネジメント力」や「自らの学びを粘り強く調整する力」を身に付けることが重要であることが明らかになりました。この力は、学習指導要領で示されている「学びに向かう力、人間性等」の育成にもつながるものと考えています。そこで、本資料では、「学びに向かう力」の育成をテーマとして取り上げ、学校教育の中で育んでいくための実践事例を提示しています。

本資料のⅠ・Ⅱ章では、「小・中学校における新型コロナウィルス感染症の影響に関する調査」における調査結果の概要及び調査結果の分析について、Ⅲ章では、調査結果を踏まえて、「学びに向かう力」を育成する必要性や授業場面における工夫点について示しています。Ⅳ章では、「学びに向かう力」を育成するための授業実践例を掲載しています。Ⅴ章では、「学びに向かう力」の育成に向けて教育活動全体で大切にしていただきたいことを示しています。

各学校におかれましては、全教職員に配布し、教育活動の振り返りや校内研修、授業の改善に役立てていただくとともに、「学びに向かう力」の育成とさらなる学力向上に向けた取組の充実のためにご活用いただくことを期待します。

令和3年1月

兵庫県教育委員会

目 次

I 小・中学校における新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査の概要	3
II 調査の結果	4
III 調査結果を踏まえた教育活動	
1 「学びに向かう力」の育成に向けて	
(1) これからの時代に求められること	10
(2) 「学びに向かう力」について	11
2 授業場面における「学びに向かう力」の育成に向けた3つの工夫	
(1) 見通し・振り返りのための工夫	14
(2) 分かる喜びを感じられる工夫	14
(3) 他教科や生活等と関連付ける工夫	14
3 「考えるための技法」を用いた「学びに向かう力」の育成	15
IV 「学びに向かう力」の育成に向けた授業改善の充実	
1 資料の見方	16
2 「学びに向かう力」の育成に着目した授業実践	
○ 国語	
(1) 小学校：国語	18
(2) 中学校：国語	26
○ 算数・数学	
(3) 小学校：算数	34
(4) 中学校：数学	42
V 「学びに向かう力」の育成に向けた指導・支援の充実	
1 児童生徒への指導・支援の充実	
○ タイムマネジメント力の育成	50
○ 課題（宿題）の質の向上	50
○ 自己有用感の育成	51
2 児童生徒を取り巻く教育環境の充実	
○ キャリア教育の推進	52
○ 自他を尊重する学級づくり	52
○ 家庭・地域との連携	52
VI 資料	53
裏表紙 学びを支え高め合う「新はばタン・モデル」	

I 小・中学校における新型コロナウィルス感染症の影響に関する調査の概要

(1) 調査の目的

新型コロナウィルス感染症に伴う臨時休業により、児童生徒は自宅で多くの時間を過ごすことになった。小・中学校においては、定期的な家庭訪問や電話連絡、学習課題の配布、教育委員会や学校による動画配信等により、心のケアや学習支援を行ったものの、生活面や学習面の影響を危惧する指摘もある。

長期間にわたる新型コロナウィルスへの対応が想定される中で、感染症が児童生徒にどのような影響を与えているかを検証し、今後の教育に生かすために調査を実施する。

(2) 調査協力校

- ・調査協力校数 小学校50校 中学校50校 計100校
- ・抽出方法 各市町小学校1校、中学校1校 ※神戸市を除く
(次の自治体は2校ずつ抽出 尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・明石市・加古川市・高砂市・姫路市)

(3) 調査対象学年・調査内容

- ・小学校（5～6年）：児童質問紙、教科に関する調査（国語、算数）
- ・中学校（1～3年）：生徒質問紙、教科に関する調査（国語、数学）
※小学校45分、中学校50分の中で、両方の調査を実施
※教科に関する調査は、H27に実施したつまずき状況調査の問題を活用

(4) 調査日

- ・令和2年9月7日（月）～18日（金）の中で、調査協力校が設定

(5) 調査対象者

	質問紙調査	国語	算数・数学
小学校5年生	2,683	1,453	1,466
小学校6年生	2,818	1,465	1,462
小学校 小計	5,501	2,918	2,928
中学校1年生	3,152	1,611	1,607
中学校2年生	3,086	1,565	1,578
中学校3年生	2,998	1,523	1,541
中学校 小計	9,236	4,699	4,726
合 計	14,737	7,617	7,654

※同じクラスで2教科を実施した学校：小学校9校、中学校2校

II 調査の結果

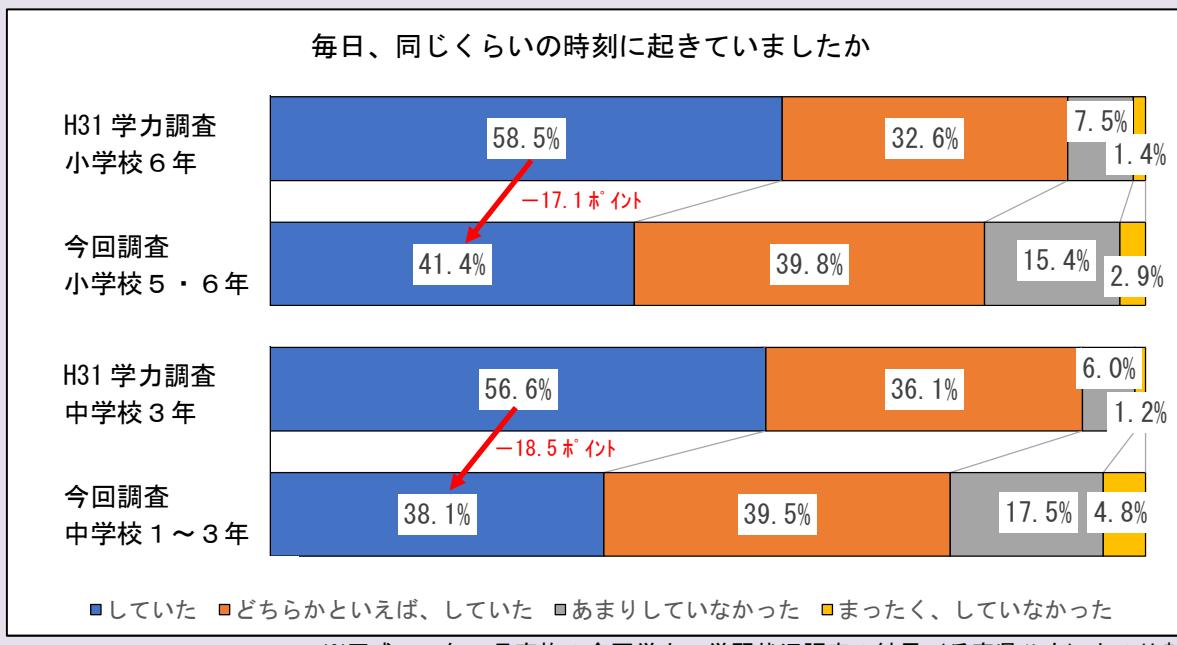
(1) 児童生徒の生活や意識等に関する質問紙調査の結果

① 臨時休業中の児童生徒の生活や学習について

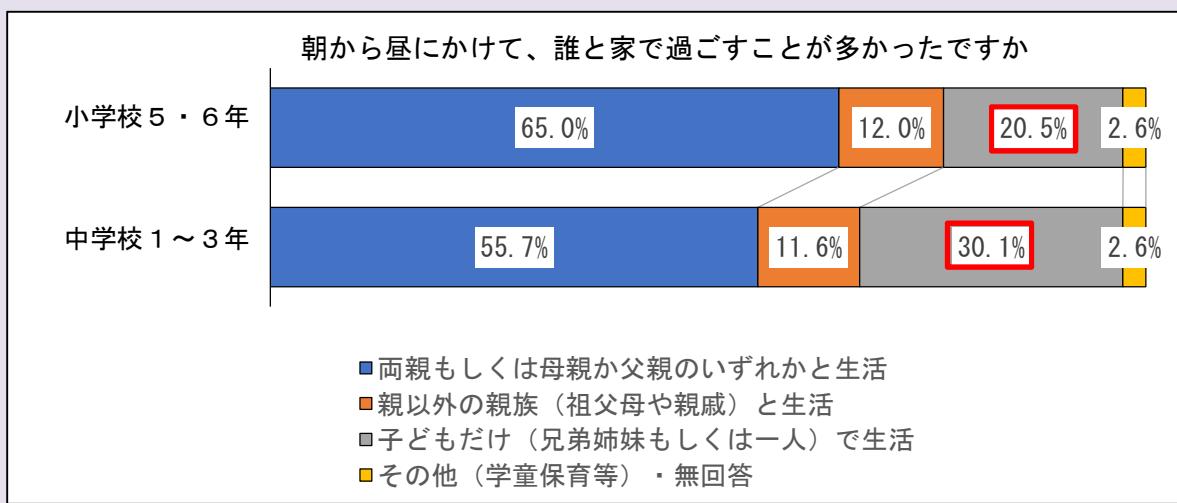
基本的な生活や学習が不規則となっていた児童生徒が一定数いた。

→規則正しい生活や学力の定着のため、学校が果たしている役割が大きい。

★基本的な生活習慣の中で、特に起床時刻が不規則になっていました。



★小学5・6年生の約2割、中学1～3年生の約3割が、朝から昼にかけて、子どもだけ（兄弟姉妹または一人）で生活していました。



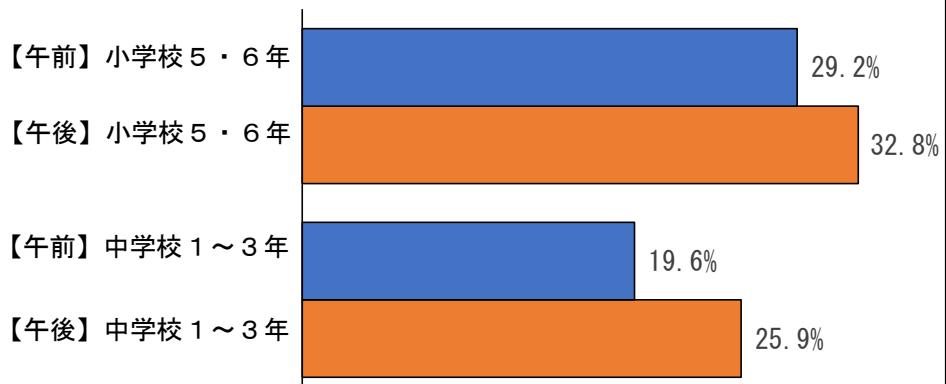
★約3割の児童生徒がインターネット上の学習動画、学習ソフト、学習アプリを使って勉強していました。

家では、学校で出された宿題以外にどんな勉強をしていましたか
(インターネット上の学習動画、学習ソフト、学習アプリを活用して勉強した児童生徒)



★勉強以外の時間はゲームをして過ごしていた児童生徒が最も多く、午前よりも午後の方が多い傾向が見られました。

月曜日から金曜日、家にいた時は、勉強以外に何をすることが最も多かったですか
(テレビゲーム(ゲーム機、パソコンやスマホゲームを含む)と回答した児童生徒)



※以下の選択肢から1つを選んで回答

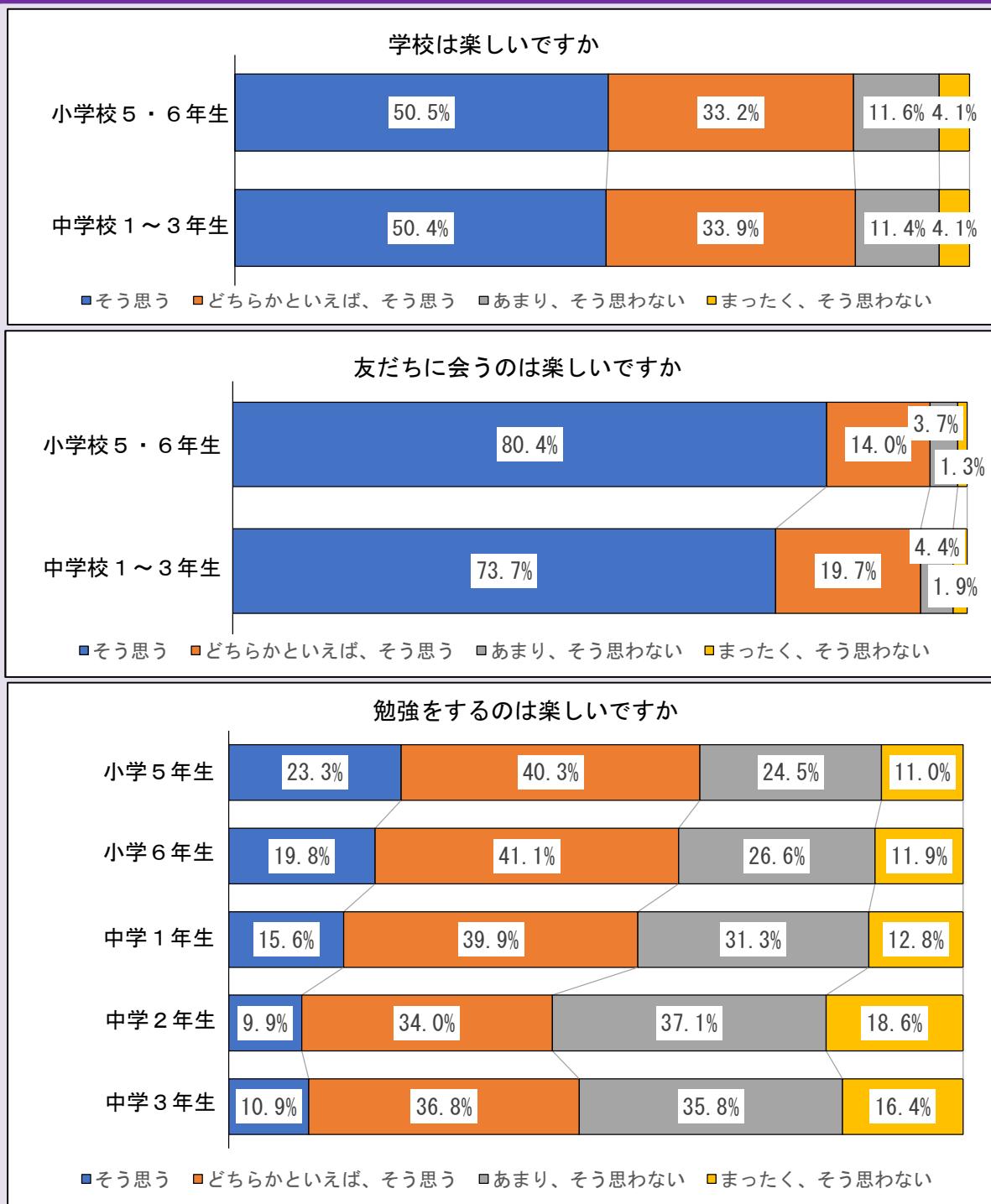
- 1 習い事の練習 2 インターネット上の動画の視聴やSNSの投稿・閲覧
- 3 友達とのメール等のやりとり 4 テレビゲーム(ゲーム機、パソコン・スマホゲームを含む)
- 5 読書(漫画、雑誌、新聞を除く) 6 睡眠 7 家の手伝い 8 これまでのこと以外

◎質問紙調査の結果より

- ①児童生徒が、自ら学習に取り組もうとする「学びに向かう力」の育成が必要
- ②児童生徒が、自ら一日の目標を設定し、計画にしたがって目標達成のために時間を管理する「タイムマネジメント力」の育成が必要
- ③インターネット上の学習コンテンツを充実させることが必要

②調査時点（令和2年9月）の学校生活について

- 多くの児童生徒が「学校は楽しい」、「友だちに会うのは楽しい」と思っている。
- 一方、「勉強をするのが楽しい」と思う児童生徒は、学年が上がるにつれて減少する傾向にある。



◎質問紙調査の結果より

感染予防に努めながら、児童生徒が主体的に学習に取り組むことができる授業づくりを進めることが必要

(2) 児童生徒の生活や意識等と学力との相関

①質問紙調査の回答内容による平均正答率の分析結果

質問紙の回答内容ごとに児童生徒の平均正答率を算出（下のグラフを参照）した。

- 平均正答率が低い傾向が見られた児童生徒の回答内容は、学習に関する内容だけでなく、基本的生活習慣、学校や友だちへの意識、親や学校の先生への感謝の念など多岐にわたっている。

★平均正答率が高い傾向が見られた児童生徒の回答内容

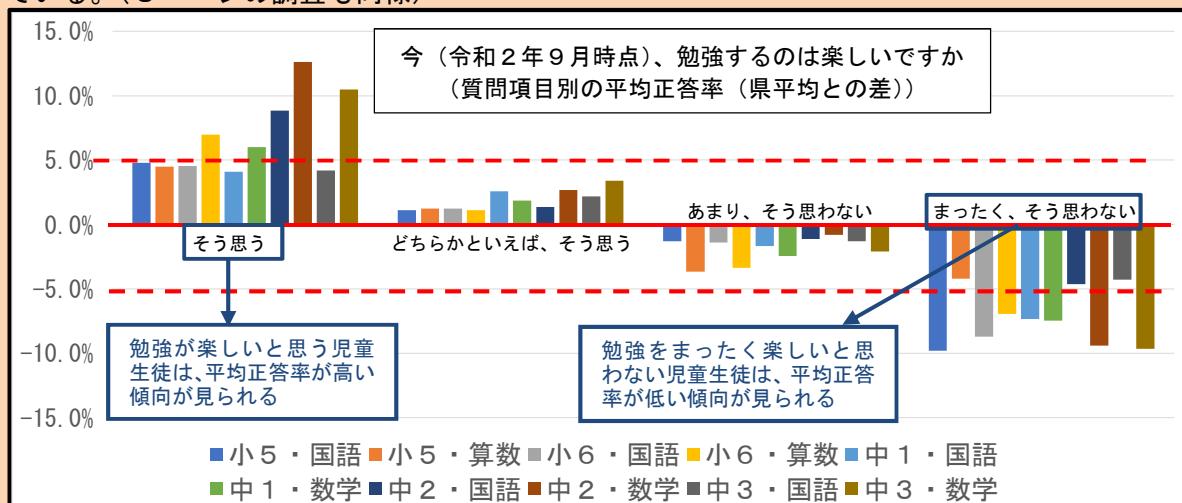
- ①臨時休業中の午前に勉強以外に「読書すること」が最も多かった
- ②今、勉強をするのが「楽しいと思う」

★平均正答率が低い傾向が見られた児童生徒の回答内容

- ①臨時休業中、毎日、朝食を「あまり食べていなかった」「まったく食べていなかった」
- ②臨時休業中、毎日、同じくらいの時刻に「まったく起きていなかった」
- ③臨時休業中、毎日、同じくらいの時刻に「まったく寝ていなかった」
- ④臨時休業中、毎日、家の手伝いを「まったく、していなかった」
- ⑤臨時休業中、「まったく、自分で計画を立てて、時間を決めて、勉強していなかった」
- ⑥臨時休業中、家人といろいろな話を「まったく、していなかった」
- ⑦臨時休業中、「宿題以外に勉強は何もしていない」
- ⑧臨時休業中、友だちに会えないので「まったく、残念とは思わなかった」
- ⑨今（令和2年9月時点）、学校が「まったく、楽しいと思わない」
- ⑩今（令和2年9月時点）、勉強をするのが「まったく、楽しいと思わない」
- ⑪臨時休業期間に、家人は、私のためにいろいろと考えて行動してくれたと「まったく、そう思わない」
- ⑫臨時休業期間に、学校の先生は、私たちのためにいろいろと考えて行動してくれたと「まったく、そう思わない」

★本調査における分析の基準

10種類の教科に関する調査（5学年×2教科）について、質問紙調査の回答内容別に、数値を算出し、5種類以上の調査で、±5.1ポイント以上の差が見られた回答内容を分析の基準として、抽出している。（8ページの調査も同様）



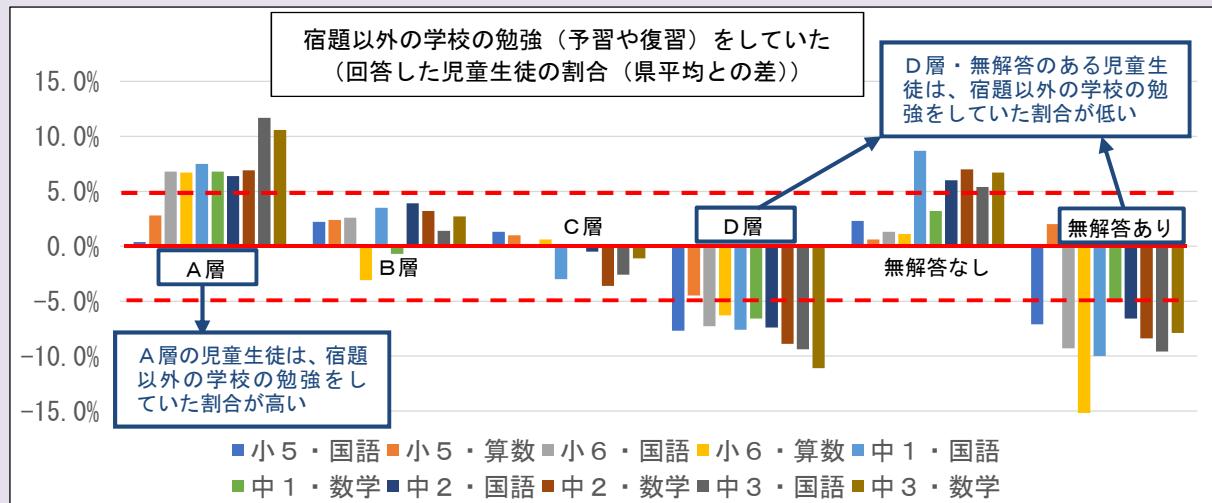
②学力層及び無解答の有無による回答内容の分析結果

教科に関する調査の結果から、A層（上位層）からD層（下位層）まで4つの学力層に分けて、質問紙調査の回答内容を分析した。加えて、テストにおける無解答（空欄）の有無に分けて、質問紙調査の回答内容を分析した。

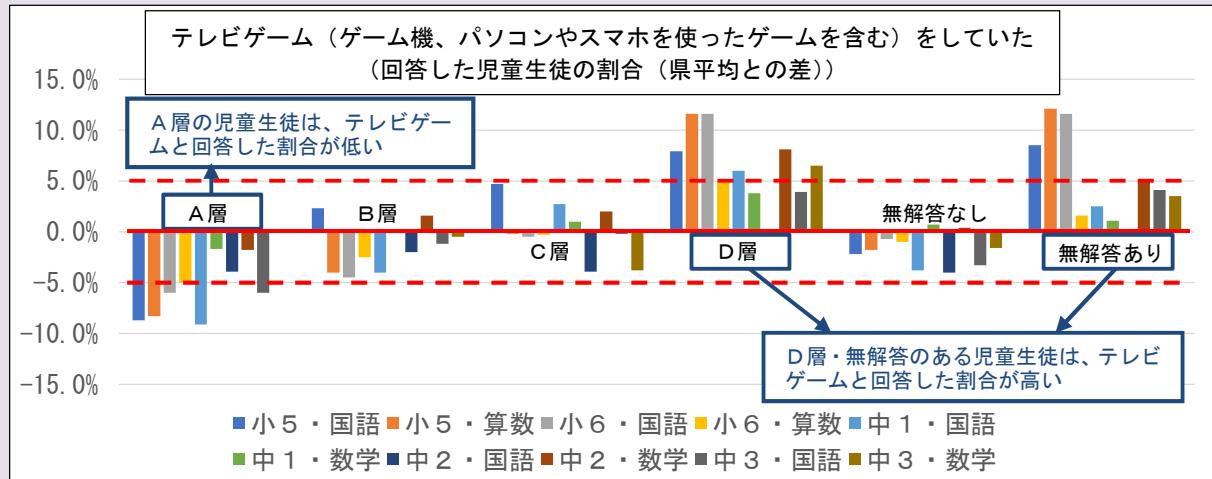
- ・A層とD層の児童生徒は対照的な回答傾向にある。
- ・D層の児童生徒と無解答の児童生徒は同様の回答傾向にある。

★特徴的な回答内容（臨時休業中の学習や生活）

- ・家では学校で出された宿題以外にどんな勉強をしていましたか。



- ・月曜日から金曜日の午前、家にいた時は、勉強以外に何をすることが最も多かったですか。



◎児童生徒の生活や意識等と学力との相関より

- ・家庭での計画的な学習、家庭での学習内容、現在の学習への意識の項目で、教科に関する調査結果との強い相関（p.7～8）
 - 継続的・計画的な学習習慣を確立する指導を進めることが必要
- ・相関が見られる内容は、基本的生活習慣に関する事、学校や友だちへの意識、親や学校の先生への感謝の念など、多岐にわたる（p.7）
 - 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育を推進することが必要

◎採点システムを活用したテスト問題の分析

教科に関する調査について、学力層（A層～D層）に分けて、各問題の正答状況を分析した。

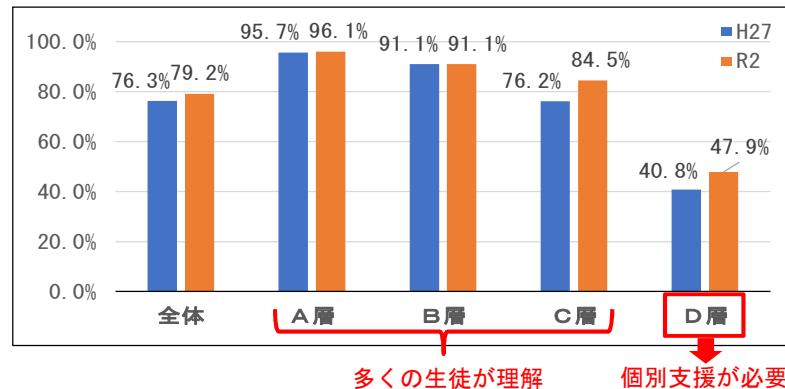
→児童生徒のつまずきに、いくつかの種類があることが判明

※学校で実施しているテスト問題についても、採点システム等を活用してさらに分析を加えることで、学力向上に向けた取組を焦点化することが可能

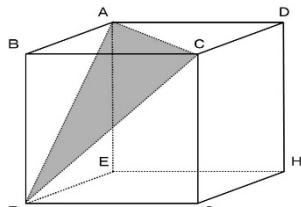
※県教育委員会では、6中学校を指定して採点システムを活用した授業改善研究を行っている。（令和2～3年度）

【中学2年生数学】

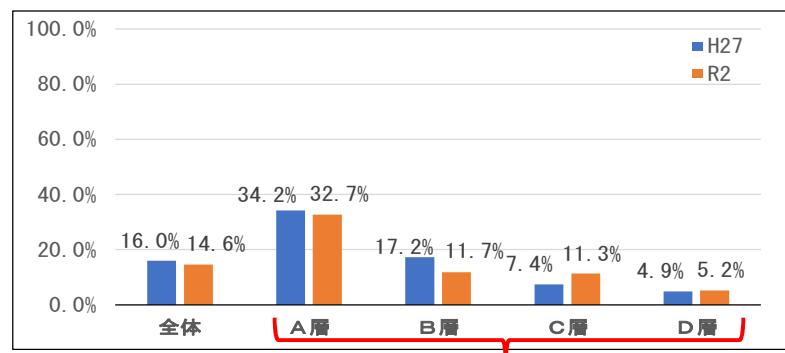
- $5 + 3 \times (-8)$ の計算をしなさい。



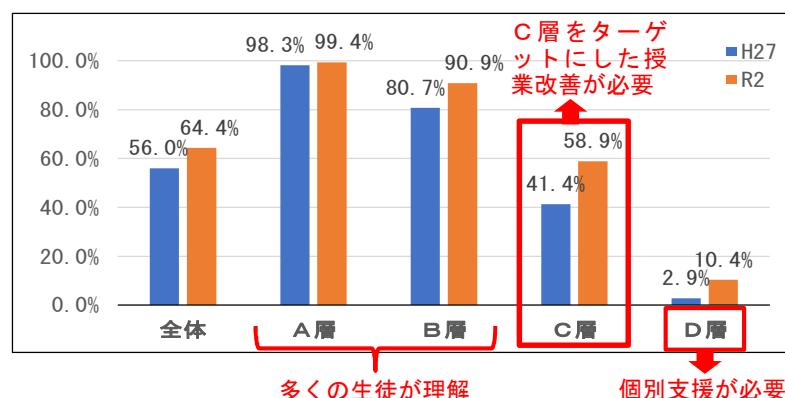
- 下の立方体の頂点 ACF で切り取った断面部分の面 ACF がどんな三角形になるかについて、下のア～エまでの中から正しいものを1つ選びなさい。



- ア 正三角形
イ 直角三角形
ウ 二等辺三角形
エ 直角二等辺三角形



- あめを何人かの生徒に配るのに、1人に3個ずつ配ると18個余ります。生徒の人数を x 人として、あめの個数を x を使って、書きましょう。



III 調査結果を踏まえた教育活動

臨時休業中は、学校から学習支援として課題配布やICT環境に応じた動画の配信、学習アプリの活用等が行われました。このような状況下、長期間に及ぶ自宅を中心とした生活の中で求められることは、「1日の生活を「タイムマネジメントすること」や自らの学びを「粘り強く調整すること」でした。すなわち、このような「学びに向かう力」の育成が必要であることが、今回の調査結果から浮かび上がってきました。今後、新型コロナウィルス感染症に対する長期的な対応を考慮しても、こうした力の育成を図ることは喫緊の課題であると捉えられます。

そこで、Ⅲ章では、特に、「学びに向かう力」の育成に向けて、授業場面において取り組むべき視点を示しています。加えて、「学びに向かう力」をどのように見取るのかということについても触れていきます。

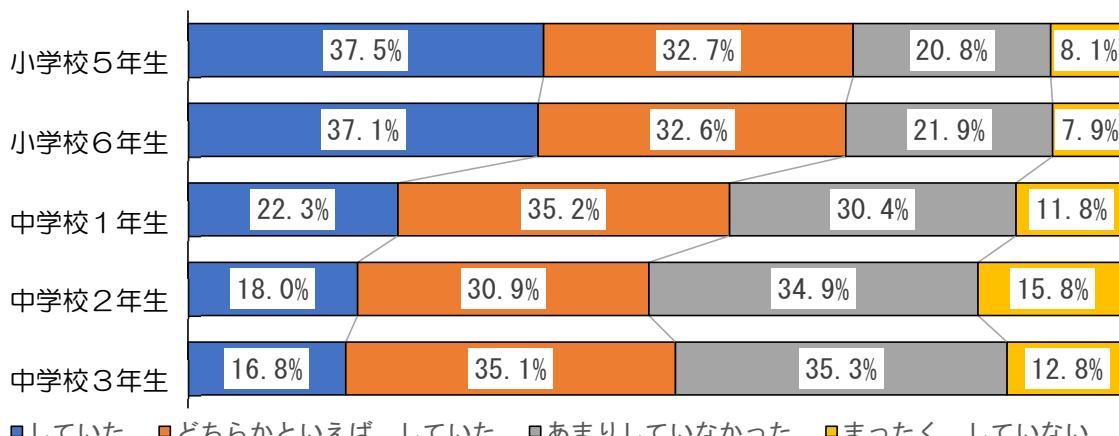
1 「学びに向かう力」の育成に向けて

(1) これからの時代に求められること

- 直面する様々な変化を柔軟に受け止め、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかを考えること
- 主体的に学び続けて自らの能力を引き出すこと
- 自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、新たな価値を生み出していくこと

(児童生徒質問紙)

臨時休業期間中、自分で計画を立てて、時間を決めて勉強していましたか。



自ら学びに取り組もうとする「学びに向かう力」の育成

(2) 「学びに向かう力」について

ア 「学びに向かう力」と「主体的に学習に取り組む態度」

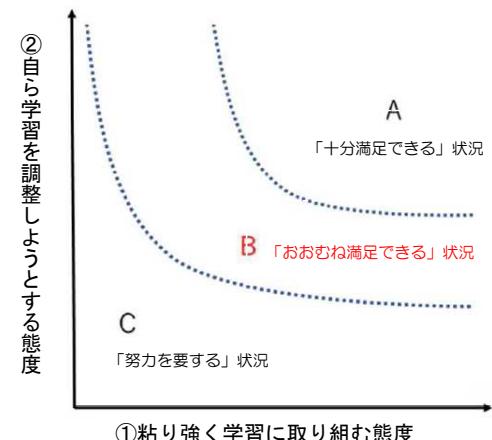
「学びに向かう力」について考える際には、評価の観点である「主体的に学習に取り組む態度」が参考になります。

「学びに向かう力」に対応する評価の観点「主体的に学習に取り組む態度」では、以下の2つの側面から評価することが求められています。

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている態度
- ② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする態度

◆ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ◆

- ①②は、相互に関わり合いながら立ち現れることもあるため、実際の評価の場面においては、双方の側面を一体的に見取ることも想定されます。
- 「自ら学習を調整しようとする側面」とは、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な側面のことです。



学習の調整が知識及び技能の習得などに結び付いていない場合には、教員が学習の進め方を適切に指導することが求められます。

「主体的に学習に取り組む態度」の見取りに当たって…

「主体的に学習に取り組む態度」について、拳手の回数やノートを取っているなど、性格や行動面が一時的に表れた場面ではなく、「児童生徒が自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たな学習につなげる」といった、学習に関する自己調整を行いながら、粘り強く知識・技能を獲得したり思考・判断・表現しようとしたりしているかどうかという、意思的な側面を見取ることが大切です。

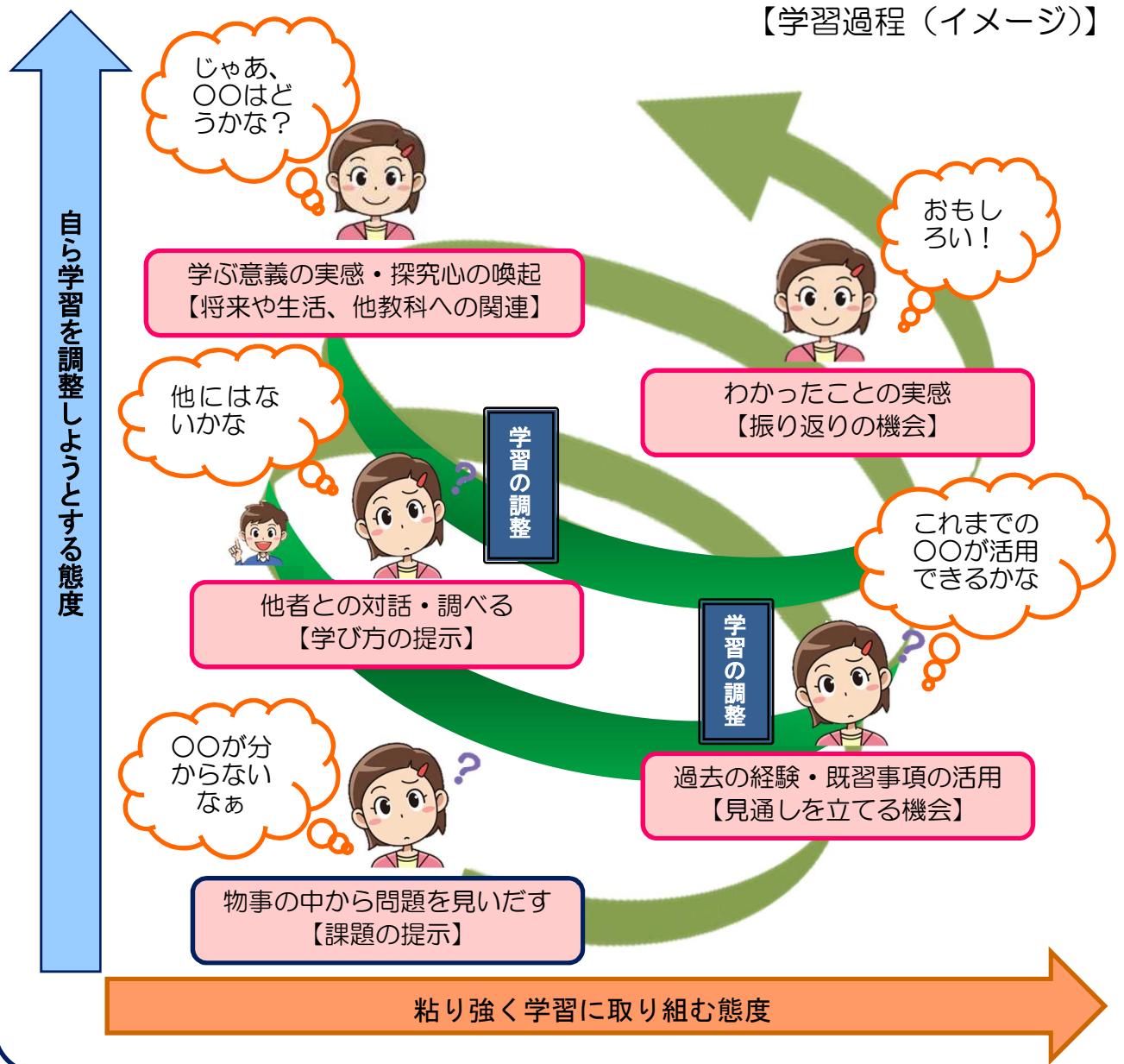


学習の過程や児童生徒の具体的な態度については、16ページ以降に記載しています。

イ 「主体的に学習に取り組む態度」と学習過程との関連

学習過程において、児童生徒は自らの学習状況を把握し、学習の進め方について粘り強く試行錯誤することが求められます。

【学習過程（イメージ）】



そのために

例えば、

- ・探究したくなるような課題を提示する
- ・「考えるための技法」(p.15 参照) 等の学び方を提示する
- ・児童生徒が自らの理解の状況を振り返ることができるような発問の工夫をする 等、学習の進め方を適切に指導する必要があります。そして、「学びに向かう力」の育成のためにも、自らの学習を調整しようとする側面や粘り強く学習に取り組もうとする側面を見取り、適切に評価することが大切です。

ウ 「主体的に学習に取り組む態度」の具体例

中学校国語では…

(例) 新たに知った言葉を紹介する～聞き手を意識して話す～(第1学年)

「主体的に学習に取り組む態度」が表れている姿を

練習を通して相手に伝わるような表現の工夫を考え、発表会に間に合うように選んだ言葉を紹介しようとしている姿

と設定

粘り強さ

スピーチ練習を繰り返して表現を考えたり修正を加えたりしている
【スピーチ練習の姿】



自らの学習の調整

表現の修正を行いながら発表会に間に合うようにスピーチを整えようとしている
【ワークシート】

中学校数学では…

(例) 一次関数～具体的な事象から取り出した二つの数量の関係を表、式、グラフで表したり処理したりする～(第2学年)

「主体的に学習に取り組む態度」が表れている姿を

一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている姿

と設定

粘り強さ

二つの数量の関係の特徴を、表、式、グラフを用いて表して、粘り強く調べようとしている
【ノート】



自らの学習の調整

表現を事象に照らして振り返りながら、 x と y の変域について意識し、それを視点として改善しようとしている
【振り返りシート】

- はじめは、変域などを考えずに解いてしまって、まったく違う表やグラフをかいていた。だけど、途中で班の人と共有して「三角形ができないこともある」や「変域を考えた方がよい」ということなどに気付き、最後には正しい表やグラフをかくことができた。これからも班やクラスの人と協力することで問題に対する見方を広げていきたい。

上記事例は「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)から抜粋。
※他の教科についても、具体的な評価の事例が掲載されています。

2 授業場面における「学びに向かう力」の育成に向けた3つの工夫

(1) 見通し・振り返りのための工夫

★見通し・振り返りの機会を設ける★

児童生徒が学ぶことに興味や関心をもつことや見通しをもって粘り強く取り組むこと、自己の学習活動を振り返って次につなげることが大切です。

- ・学習活動の見通しを明らかにし、学習活動のゴールとそこに至るまでの道筋を鮮明に描くことができるような学習活動の設定を行っていますか？
- ・児童生徒が家庭において学習の見通しを立てて予習したり、学習した内容を振り返って復習したりできる工夫をしていますか？

(2) 分かる喜びを感じられる工夫

★「分かる！できる！」という達成感を実感させる場面を設ける★

学習活動の過程で「分かった！」という実感をもたせることやそれを積み重ねていく経験は、次の学習意欲につながります。

- ・身に付けた知識・技能を活用して、つまずきの解消や課題解決が図られるような学習活動を設定していますか？
- ・学習後に「何が分かったのか」「何が身に付いたのか」を感じられるような工夫をしていますか？

(3) 他教科や生活等と関連付ける工夫

★「学ぶ意義」を実感させる学習活動を設ける★

児童生徒にとって「何のために学ぶのか」という各教科等を学ぶ意義が感じられる探究的な学習につなげることが大切です。

- ・児童生徒の身の回りの日常生活や社会にある事物や現象を適切に取り上げ、各教科等で習得した概念や知識、技能を活用するような場面を設定していますか？
- ・自らの学びを意味付けたり、価値付けたりして自覚し、他者と共有したりできるような場面を設定していますか？

→ 16ページ以降の授業実践では、上記の3つの工夫に沿ってまとめています。

3 「考えるための技法」を用いた「学びに向かう力」の育成

児童生徒は、各教科等の学習場面や日常生活において、課題について考える過程で、対象を分析的に捉えたりするなど、様々に思考を巡らせています。しかし、児童生徒は自分がどのような方法で考えているのか、頭の中で情報をどのように整理しているのかということについて、必ずしも自覚していないことがあります。

そこで、各教科等の学習過程において「考えるための技法」を意識的に活用させることによって、児童生徒の思考を支援すると同時に、別の場面にも活用できるものとして習得させることで、児童生徒が新たな課題を解決することができ、それが学びに向かう力の育成につながります。これらはあくまで例示であると同時に、重なりなく列挙するものではなく、関わり合うものです。

【参照：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総合的な学習の時間」p.82-86】

【参照：中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総合的な学習の時間」p.79-83】

○ 順序付ける

- ・複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える。

○ 比較する

- ・複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。

○ 分類する

- ・複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめること。

○ 関連付ける

- ・複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。
- ・ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。

○ 多面的に見る・多角的に見る

- ・対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。

○ 理由付ける（原因や根拠を見付ける）

- ・対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする。

○ 見通す（結果を予想する）

- ・見通しを立てる。物事の結果を予想する。

○ 具体化する（個別化する、分解する）

- ・対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。

○ 抽象化する（一般化する、統合する）

- ・対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。

○ 構造化する

- ・考え方を構造的（網構造・層構造など）に整理する。



16ページ以降の授業実践には、「考えるための技法」の活用を記載しています。

IV 「学びに向かう力」の育成に向けた授業改善の充実

1 資料の見方

本章では、「小・中学校における新型コロナウィルス感染症の影響に関する調査」で特に課題に見られた設問を取り上げ、「学びに向かう力」の育成に着目し「見通し・振り返りのための工夫」・「分かる喜びを感じられる工夫」「他教科や生活等と関連付ける工夫」の3つの視点を取り入れた授業例を示しています。

学びに向かう力の
育成に着目した

基準量と比較量（割合に当たる大きさ）の2つの数量の
関係を、場面と図とを関連づけて理解するための授業

2 小学校（算数）

（1）調査の設問内容（小学校6年生算数 3の(3)①）

- ・基準量と比較量（割合に当たる大きさ）を関連づけて考える問題

（2）調査結果

正答率（%）	無解答率（%）	H27 調査（%）
6年	6年	6年
41.9	0.7	49.3



- ・調査の設問番号
- ・国語は、同一校種は同一の設問

（3）児童のつまずき

- ・問題文にある2つの数量のうち、どちらが基準量（割合に当たる大きさ）であるか正しく判断できることに課題が見られている。
- ・基準量と比較量（割合に当たる大きさ）の2つの数量の関係を、場面と図とを関連づけて理解することに課題がある。

・5年前の調査との
比較

・つまずきの分析

（4）学年・単元名（教材名）

第5学年 「割合」（学校図書）

（5）ねらい

- 割合について、その意味や百分率などの表し方を理解し、割合を使った問題や割合が増減する問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を豊かで確かにするとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。

（6）単元計画「割合（1）（2）」

- (1) 1 割合（2時間）
 - 2 百分率と歩合、学びをいかそう（3時間）
- (2) 1 2つの量の割合（1時間）
 - 2 割合を使った問題、学びをいかそう（5時間）

(7) 児童が主体的に取り組むための工夫

① 【見通し・振り返りのための工夫】

見通す

比較する

順序付ける

■ ■ ■ 用いなければ問題解決が困難な場面を提示する

・授業場面における工夫

→ 詳細は p. 14 参照

この表では、各学年でのシュートの記録数を表に表しました。

・「考えるための技法」

→ 詳細は p. 15 参照

	シュートした数 (回)	入った数 (回)
だいちくん	6	5
ゆいちゃん	5	4
ひろきくん	3	2

・ブルーの枠は、ここで
のポイントになります。

シュートが入った数が1番多い人のことかな?



だいちくんが、6回で1番多いよ。

ひろきくんは3回しかシュートを外していないよ。だいちくんは4回も外しているのに成績がよいといえるのかな?



シュートが入った数だけを比べても、よい成績かどうかわからないよ。



シュートした数がそれぞれ違うから、シュートした数に対してどれ程シュートが入ったかを考えるといいね。



シュートした数をもとにして考えればいいんだ。

もとにする量に着目

学習の調整

シュートが入った数だけを比べても、成績がよいかどうかが分からることから、シュートした数に対してどれ程シュートが入ったかに着目して考える等、自らの学習を調整しながら割合の意味に気付けるようにします。

基準量と比較量の関係

シュートした数 (基準量)

・ここでは さん、友だちの意見を聞いて、自らの学習を調整しながら、理解を深めています。

お

・既習事項や他者との対話で気付いたことを活用して、粘り強い取組や自らの学習を調整する力が求められています。

入った数 (比較量)

○ ○ ○ ○ ○

× × × × ×

基準量と比較量は、シュートの成績が分かるね。

わり算で求めた値が大きいほど、シュートの成績が良いと言えるね。



2 「学びに向かう力」の育成に着目した授業実践

(1) 小学校 国語①

言葉や文のつながりを考えて書くための授業

学びに向かう力の
育成に着目した

(1) 取り上げた調査問題（小学校国語 2の二）

- 接続詞を用いて、一文を二文に分ける問題

（→「ひょうごつますきポイント指導事例集 小学校国語」p. 43 参照）



(2) 調査結果

正答率 (%)		無解答率 (%)		H27 調査 (%)	
5年	6年	5年	6年	5年	6年
14.7	22.4	14.7	7.4	23.6	31.7

(3) 児童のつまずき

- 内容のまとめを読み取ることに課題が見られる。
- 接続詞の意味を理解して文を作成することに課題が見られる。
- 主語の理解に課題が見られる。
- 文末を整えて書くことに課題が見られる。

(4) 学年・単元名（教材名）

第4学年 「文の組み立てと修飾語」 （東京書籍）

「伝わりやすい文」 （東京書籍）

第5学年 「文の組み立てをとらえよう」 （東京書籍）

(5) ねらい

- 主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
- 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。

(6) 単元計画

- 文の分かりやすさを考え、よりよい書き表し方について考える（2時間）
- 文章を書き、推敲した文章を読み合い、さらに推敲する（4時間）

(7) 児童が主体的に取り組むための工夫

①【見通し・振り返りのための工夫】

比較する

見通す

●教員が作成した「分かりにくい文章」と「分かりやすい文章」を比較する

《例文①》【分かりにくい文章：主語と述語が正しく対応していない。1文が長い。】

この物語の一番はらはらする場面は、やっとお化けやしきから出たところで再びゆうれいに出会います。主人公は家族で遊園地に来ていて、兄が「お化けやしきに入ろう。」と言うので入ったらはぐれて迷ってしまい、やっとドアにたどりついて出口だと思って開けたら、女の子が一人で立っていて、話しかけるとすうっとかべの方に消えてしまったのです。

《例文②》【分かりやすい文章：主語と述語が正しく対応している。1文が短く主語が明確。】

この物語の一番はらはらする場面は、お化けやしきからやっと出たところで再びゆうれいに出会うところです。主人公は家族で遊園地に来ていました。兄が「お化けやしきに入ろう。」と言うので入りました。ところが、主人公は家族とはぐれて迷ってしまいます。やっと出口だと思ってドアを開けたら、女の子が一人で立っていました。主人公が話しかけると、その女の子はすうっとかべの方に消えてしまったのです。



例文①と②では、どちらが分かりやすい文章ですか。

パッと文章を見ると例文①の方が短いけど、読んで分かりやすいのは例文②だな。どうしてだろう。



【分かりやすく書くポイント】

- ①主語と述語を正しく対応させる
- ②修飾語はくわしくしたい言葉の近くにする
(読点の位置や語順の工夫)

例文①の最初の文は、主語と述語が正しく対応していないよ。主語が「場面は」だから、例文②の「出会うところです」の方が正しいね。



他にも、例文①は一文が長いけど、例文②はその文で言いたいことが1つだけになっているよ。



文章を比べ、どちらが分かりやすいかを考えて、より適切な表現を選ぶ力を育てます。主語と述語の関係、修飾・被修飾の関係、一文の長さなどは「分かりやすく書くポイント」として掲示して、文を直す視点や直し方の工夫に気付けるようにします。

- ③一文の長さに気を付ける
(文を分けてつなぎ言葉を入れる・こそあど言葉を使う)
- ④文末の書き方をそろえる

●単元はじめの頃の自分のつまずきを思い起こして自己内で比較し、分かったことやできるようになったことを書く

比較する

はじめは、自分が書きたいことを書いていたけど、相手に伝わる文章と伝わりにくく文章を比べることで、ポイントを使って、どこをどう直せば相手に伝わりやすい文章になるかが分かりました。



グループで話し合って文章を直したとき、ぼくの文章は一文が長いことと、文末の書き方がそろっていないことに気が付きました。自分の文章を点検するポイントが分かりました。



学習する前と後とで変化した「分かったこと」や「できるようになったこと」を意識させ、自己の変容に気付かせるよう振り返りを促します。

②【分かる喜びを感じられる工夫】

●自分で書いた文章が分かりやすいかどうかを、グループで推敲する

関連付ける



私が書いた文章は何となく読み
にくいけど、どうしてだろう。

単元はじめの頃のつまずき

(書いた文章の違和感の理由が明確でない)

私は1才の猫がいて、しま模様でやんちゃで食いしん坊です。父の足下でゴロゴロと甘え、父は「そんなにくっついたら歩けないだろう。」と猫に向かって怒っているのですが、顔は笑顔です。猫は犬とネズミのおもちゃを追いかけて一緒に遊んでいます。夜はぐっすり大きな魚のベッドで寝ています。



私の家の猫を紹介した文章を書いたよ。自分では何度も見直し
て書いたけど、伝えたいことが伝わってない気がするよ。



「分かりやすく書くポイント」で考えてみると、最初の文
は主語と述語が正しく対応していないよ。これだと「私
は」「食いしん坊です」になっちゃう。



「猫は、犬とネズミのおもちゃを追いかけた。」なのか、
「猫は犬と、ネズミのおもちゃを追いかけた。」なのか、
どっちだろう。

既習事項を意識



それなら、「ネズミのおもちゃを猫と犬が追いかけた」の
語順にするはどうかな。「分かりやすく書くポイント」
の2つめにくわしくしたい言葉の近くに書くってあるよ。



そうか、こうやって「わかりやすく書くポイント」を使って
点検すればいいんだね。



学習の調整
推敲するポイント
と関連付ける



文章を書くときには、主語や述語、修飾語が正しく使えて
いるか確認しないとね。

どんなことを伝えたいのか
を箇条書きにしてから、考
えて書くことが大事だね。

相手に伝わる文章かどうか、「分
かりやすく書くポイント」を使って、
何度も読み返して書き上げたいな。



推敲する際に「分かりやすく書くポイント」と
関連付けてグループで話し合わせることで、ど
のポイントを使ってどう直したのか、自らの学
習を調整しながら相手に伝わる文章を意識し
ます。その際、元の文章に「分かりやすく書く
ポイント」の番号を書いたり、推敲の跡を残し
たりするなど、話し合ったことを踏まえて、一
人では気付かなかったことに気付いた実感を
もたらせることが大切です。



③【他教科や生活等と関連付ける工夫】

関連付ける

●目的をもつ

地域の自然災害への備えについて調べて、自分の考えたことを新聞にまとめよう



地域の避難所について調べてみたよ。
地域の人にインタビューした部分と自分の考えと一緒にまとめたいけど、どうしたらしいかな。



「分かりやすく書くポイント」を使って、主語をはっきりさせて書いたら伝わると思うよ。インタビューした人の思いは、「〇〇さんは」と名前を書くといいね。

委員會活動

学校をよりよくするための運動を計画しよう



文末に気を付けて書いたよ。
つなぎ言葉を使って、文のつながりも意識したよ。

節電のためには

1. チャレンジ

他のクラスの教室で電気がつかないが、それで、気にならなかったので、事務室で電気代のグラフを見せてもらつた。そうすると、夏は電気の使用量が増加していることを知つた。

よく注意して見ると、小学校では教室を移動する際に電気を消し忘れていることがある。その原因の一つは、電気を消すという意識がたりないことだと思われる。もう一つは、電気が限りあるエネルギーだ"ということから理解されていないからだ"と考えられる。

2. 提交

(1) ポーラリゼーション

電氣代入電氣使用量由尺寸換算；電熱子在各窗口以電氣代入電氣使用量

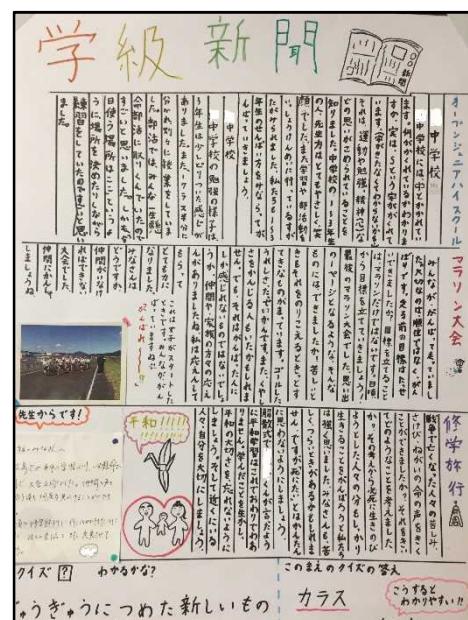
学級活動

係活動として、クラスの友達が楽しめる新聞をつくろう



分かりやすい文章になっているかどうか、メンバー全員で読み合って、「分かりやすく書くポイント」を使って点検したよ。

書いたものを互いに読み合う活動が感想の交流にとどまらないようにするために、文章点検の視点として、いつも「分かりやすく書くポイント」を意識して使うようにします。これに基づいてアドバイスし合うことで、学びを生かし、言葉を適切に使って表現する意識と言語感覚の理解と定着を図るようにします。



(1) 小学校 国語②

学びに向かう力の
育成に着目した

要旨や、事実と感想、意見などとの関係をおさえ、
自分の考えを明確にしながら読むための授業

(1) 取り上げた問題 (小学校国語 4の二(1))

- 要旨を読み取る問題

(→「ひょうごつまづきポイント指導事例集 小学校国語」p. 71 参照)



(2) 調査結果

正答率 (%)		無解答率 (%)		H27 調査 (%)	
5年	6年	5年	6年	5年	6年
24.9	42.5	20.6	7.8	33.3	51.2

(3) 児童のつまずき

- 要旨を読み取ることに課題が見られる。
- 要旨のまとめ方に課題が見られる。
- 字数制限などの条件に対応することに課題が見られる。

(4) 学年・単元名 (教材名)

第5学年 「文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう」

(『言葉の意味が分かること』(光村図書))

(5) ねらい

- 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
- 事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成をとらえて要旨を把握することができる。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。

(6) 単元計画

- 練習教材「見立てる」(学習の見通し) (1時間)
- 本教材「言葉の意味が分かること」(構成と内容のたしかめ・事例の挙げ方・原因と結果の関係・事例と筆者の考え方の結びつき) (4時間)
- 要旨をとらえる (1時間)
- 筆者の考え方や事例の示し方について、自分の考え方をまとめる (1時間)
- 自分の考え方を発表し、学びをまとめる (1時間)

(7) 児童が主体的に取り組むための工夫

① 【見通し・振り返りのための工夫】

- 教員があらかじめ作成した要旨を提示し、①要旨とは何か、②要旨をとらえる

ためのポイントは何か、を考える 比較する 関連付ける 構造化する 見通す



要旨と本文を比べると、どんちがいがありますか？



要旨は短いけど、筆者が伝えたいことが分かる気がするよ。



要旨と文章構成図、要旨と本文を見比べて気付いたことはありますか？

要旨には「初め」と「終わり」の内容が多く使われているね。



「初め」と「終わり」には
「見立てる」や「想像力」
という言葉が繰り返し使わ
れているよ。



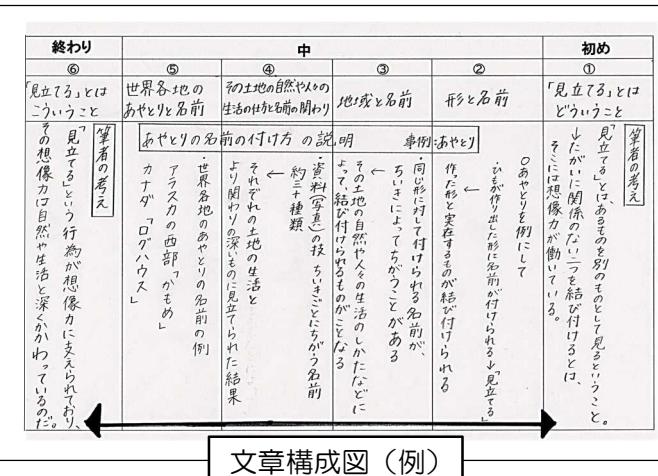
要旨にも「見立てる」や「想像力」が使われているね。

「中」の部分は、要旨の中でどんな役割をしていますか。

筆者は、【あやとりの名前】を例に挙げて、見立てるという行為が想像力に支えられているという考え方の説明に使っているよ。



本文と要旨、要旨と文章構成図を比べて気付いたことを整理しましょう。



本文と要旨を比較したり、文章構成図を用いて文章全体を構造化したりして気付いたことを話し合い、要点を整理することで、要旨をとらえる際に自らの学習を調整するためのポイントに気付けるようにします。

＜要旨をとらえるポイント＞

- 筆者の考えは「初め」「終わり」に多い
 - キーワードは「初め」「終わり」に多く使われている言葉
 - 「中」には「例」が多い
※「例」には、筆者の考え方を強めるはたらき

● 単元末に何を学び、どう考えたのかについて自分の言葉で振り返る



学習を通して、分かったこと、もっと調べてみたいことを書きましょう。

学習を通して、「分かったこと」や「もっと調べてみたいこと」などを自分の言葉で記述させます。その際に、授業で学習した大切な言葉をキーワードとして示し、友だちに説明するように書くなど、振り返りの視点を示すことが大切です。

＜単元素での振り返り例＞

「要旨をとらえる」って難しいと思っていたけれど、筆者がなぜその例を挙げたのかを考えしていくと、筆者の考えが見えてくるなと思いました。繰り返し出てくる言葉はキーワードだということや「初め」や「終わり」に筆者の考えが書いてあることが「文章構成図」をつくるとよく分かりました。「筆者がこの文章で伝えたいことは何か」と考えると分かりやすいと思うので、文章を書くときに気を付けたいと思いました。

②【分かる喜びを感じられる工夫】

●「要旨をとらえるポイント」をもとに、文章の話題や構成、筆者の考え方と事例の挙げ方を「文章構成図」で確かめ、要旨をとらえる

関連付ける

構造化する



最後の方の文章を抜き出したらいいかな。

単元はじめの頃のつまずき

(文章の構成や筆者の考えを関連付けてとらず、漠然と取り組もうとしている)



練習教材「見立てる」では、どこに筆者の考えが書いてありましたか？
要旨をとらえるポイントは何でしたか？



筆者の考えは「初め」や「終わり」に書いてあることが多かったね。

それぞれの例は、筆者の考え方とどう関連しているかな。



既習内容とのつながりを意識

要旨をとらえてまとめる



筆者の考え方と事例がどのように結びついているのか「文章構成図」に整理して、要旨を文章にまとめましょう。



「初め」と「終わり」で出てくる同じ言葉や、ほとんどの段落でくり返し出てくる言葉は、筆者が伝えたいことだから、要旨にはその言葉が入るね。



文末も「～なのです。」など、強く筆者の考えが表れているところにも気をつけないとね。

筆者に対して、「私は共感する」「納得する」「疑問に思う」など、自分の考え方をもちながら読むことも大事だね！



学習の調整

文章の話題と構成、事例と筆者の考え方を関連付けて理解

事例から、何が原因でどんな結果になるかも分かるね。ここも大事だね。この説明文は「筆者の考え方→事例→筆者の考え方」になっているね。



い	る	ぶ	直	使	し	学	い	葉	言
。	レ	と	す	、	て	ぶ	を	を	葉
と	き	こ	こ	て	理	と	理	適	の
い	に	と	い	解	き	解	切	意	
う	け	に	ろ	し	、	す	に	味	
こ	も	も	言	考	言	る	使	に	
と	言	つ	葉	え	葉	必	う	は	
を	葉	な	や	る	の	要	た	広	
考	の	が	も	こ	意	が	め	か	
え	意	る	の	と	味	あ	に	り	
て	味	。	の	は	る	は	が		
み	は	言	見	、	、	そ	あ		
て	面	葉	方	ふ	面	言	の	り	
ほ	で	を	だ	、	葉	は			
し	あ	学	見	ん	と	を	ん	言	
150	135	120	105	90	75	60	45	30	15

児童が書いた要旨の例

「文章構成図」を使って、本文を構造的に整理させます。「要旨をとらえるポイント」を意識させながら、くり返し使われている言葉や筆者の考え方が書かれている部分に着目させます。「文章構成図」で整理されたキーワードや筆者の考え方を必ず要旨の中に入れることを条件に示すことで、書くことへの抵抗感を減らします。字数が指示されていても、初めは字数にとらわれずに自由に書いてみることで、自らの学習を調整できるようにします。

③【他教科や生活等と関連付ける工夫】

●複数の情報から話題の中心をとらえて、生活に生かせる情報リテラシーの育成を図る

比較する

分類する

関連付ける

社会

同じ情報を扱う3社の新聞記事とテレビの内容をもとに、日本の自動車工業について考えよう

A
新聞

○社の新車△は、全グレードハイブリッド。△はこれまでガソリンエンジンだったが、今回すべてハイブリッドに統一。低燃費、環境への配慮を全面にアピール。

B
新聞

○社が最高レベルの自動運転を実現。△はGPSを使った自動追尾走行が可能に。自動ブレーキ機能と合わせて、完全自動運転に一步近づいた。

C
新聞

○社が10年ぶりに△をフルモデルチェンジ。スポーティーな見た目で若年層をねらう。一方、燃費や安全装備も充実させ、ファミリー層にも的を広げる。

テレビ

○社が海外の☆社と業務提携。☆社の自動運転技術と○社のデザイン力が融合し、自動車業界に新風を巻き起こした。

	安全 装備	燃費	業務 提携	外見	環境
A 新聞		◎			○
B 新聞	◎				
C 新聞	○	○		◎	
テレビ	○		◎	○	

◎：中心となる話題

○：付加的な話題

(例) 思考ツール [マトリックス]



新聞を読み比べると、どの新聞も最初に言いたいことを書いているね。B新聞は何度も「自動」が出てくるから、B新聞が一番伝えたいのは自動運転のことだね。

こうやって表に分類すると分かりやすいね。



同じ「自動車関連」のニュースなのに、新聞もテレビも伝えている内容が違うね。



要旨をとらえる力は、文章を書くときや話し合いのときなど様々な場面で意識させることが重要です。複数の情報を扱う際には、マトリックスを用いて分類・比較することで、一番伝えたいことは何かを考え、正確に情報をとらえさせます。また、分類・比較を通して、自分の考えを整理させることで、自分の考えを構築することにもつながります。例えば社会科で各社の新聞記事とテレビ報道を比べ合う場面を提示し、学びを生かすとともに、要旨を学習することの良さを実感できるようにします。

C新聞は安全装備や燃費のことも伝えているけど、一番伝えたいことは「外見」のことかな。



日本の自動車工業について

日本の自動車工業は、とてもめざましい進化をしている。毎日自動車を使う人のことを考えて、低燃費のハイブリッド車が多くなったことはもちろん、安心安全な交通をめざして自動運転もどんどん取り入れられている。海外の会社と業務提携をすることで、ますます消費者の目線にたった自動車が作られようとしている。

日本の自動車工業は、快適で安全な社会づくりに欠かせないものになっている。



(例) 話題の中心をとらえてまとめた文

(2) 中学校 国語①

学びに向かう力の
育成に着目した

意見文の説得力を高めるために文章を推敲し、 理由や根拠を踏まえて書くための授業

(1) 取り上げた問題（中学校国語 3の二）

- 根拠を踏まえて意見文を書く問題

（→「ひょうごつますきポイント指導事例集 中学校国語」p. 29 参照）



(2) 調査結果

正答率(%)			無解答率(%)			H27 調査(%)		
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
15.3	16.7	21.8	16.9	16.4	14.1	22.2	23.2	22.7

(3) 生徒のつまずき

- 説明や具体例を示したり、表現する内容に最も適切な語句を選んだりするなどの描写を工夫することに課題が見られる。
- 自分の考えの根拠となる事実や事柄の示し方を考えることに課題が見られる。
- 読み手の視点に立って書くことに課題が見られる。

(4) 学年・単元名（教材名）

第1学年 「根拠を明確にして意見を書こう」（東京書籍）

(5) ねらい

- 根拠を明らかにしながら、自分の主張や考え方を相手（読み手）に伝わるよう工夫して書く。
- 表現方法（語句、叙述の仕方等）やその効果を確かめながら、相手（読み手）を意識して、文章を整える。

(6) 単元計画

- 相手により伝わりやすい意見文を書くためのポイントを考える（1時間）
- 文章の構成を考え、意見文にまとめる（2時間）
- グループ内で推敲し合い、清書する（1時間）
- 意見文を読み合い、自身の考え方を深める（1時間）
- 自分の考え方を新聞に投書する記事を書く（1時間）

(7) 生徒が主体的に取り組むための工夫

①【見通し・振り返りのための工夫】

見通す

比較する

●相手により伝わりやすく書くためのポイントを2つの意見文を比較しながら考える

教員があらかじめ作成した意見文を提示し、推敲するためのポイントを考える

〔意見文B〕**〔尾括型〕**

先日、マイバッグ万引きが増加しているというニュースを見た。毎日の買い物に使用するマイバッグは買い物中も片手に提げているので、直接商品を入れて会計をせずに店外に出るというものだ。レジ袋有料化の目的が消費者の環境への意識を高めるということだけに、万引きの増加を招いてしまったことは皮肉なことだと考える。

レジ袋有料化の目的は消費者の環境への意識を高めることである。それにも関わらず、万引きの増加を招いてしまったことは皮肉なことだと考える。

先日、マイバッグ万引きが増加しているというニュースを見た。毎日の買い物に使用するマイバッグは買い物中も片手に提げているので、直接商品を入れて会計をせずに店外に出るというものだ。

「意見文」の中の「自分の意見」の述べ方を比べてグループで推敲しましょう。

どちらの文も同じ意見だけど、書き方が違うね。

《意見文B》は考えの根拠になったニュースが最初だね。

《意見文B》の「皮肉なことだと考える」は、期待していたことと違ったという思いがあるから、ニュースが先の方が伝わりやすいね。

書き方の部分に着目

《意見文A》は「自分の意見」を書いて、理由を次の段落に書いていくよ。

『意見文A』は先に自分の意見が書いてあるので、何について書かれているか伝わりやすいと思う。

学習の調整

読み手がいることを意識して、文章の構成を明確にして書くといいね。

自分の書いた意見文を、より相手に伝わる文章に整えるにはどうすればよいのかを確認します。着眼点を絞り、グループで推敲することで、読み手意識をもたせ、相手にどう伝わるのか、どう整えるのかについて理解します。

【説得力のある意見文にするための

推敲のポイント】

- 文章構成（双括型・頭括型・尾括型）や意見は明確か
 - 意見を支える根拠は具体的か
 - 条件に沿って書かれているか

●「推敲のポイント」で理解したことを使って意見文を書いたり、友達の作品にアドバイスできたりしたかを自己評価する

読み手を意識した文章に必要な視点について、対話を通して自分の文章に生かせたかどうかについて自己評価します。その際、「文章の構成」や「根拠の示し方」など読み手を意識して工夫したことを見返りの観点として示します。

振の返り
グレーPで相手に言いにくいことが
伝わるかどうかを話し合うことで、
一人で作文としてそこには思いつか
ない、たとえば言葉や言い回しと教えて
もらいました。特に「断定的な言い
方にすら」という意見はとても
参考になりました。また「根拠の
まとめ方をほめてもらったことも
嬉しかったです。読んだ相手に
どう伝わっているか考へて書きたい
といつもいます。

【振り返りの記述例】

②【分かる喜びを感じられる工夫】

●グループで推敲を行い、良い点や改善点を理由づけして付せんに書く

具体化する



どう書けば自分の意見文が相手に伝わるかな？

単元はじめの頃のつまずき
(読み手の視点がもてない)



グループで意見文を読み合って、良い点（青色）や改善点（赤色）について、具体的に付せんに書いて相手に伝えましょう。

学習の調整

私の書いた文章は、まとめの段落の文末に「～してほしいと思う。」と文をしめくくることで、自分の思いを伝えようと思って書いてみたよ。どうかな？

読み手を意識

それなら、「～してほしいと思う」と書くより「～していかなくてはならない」と断定的に書いたほうが意見を強調することができるんじゃないかな。でも、事実がたくさん書いてあったから「なるほど」と納得したよ。



<付せんの例>

「～していかなくてはならない」と書いたほうが意見を強調できる。

説得力を持たせるためには、具体的な数字があれば分かりやすいな。もし反対意見の人があれば、反論まで書かないと納得できないかもしれないってことだね。



根拠は、複数の事実をまとめてあつたので分かりやすかった。

学習の調整

説得力を持たせるために根拠に具体的な数字を入れる。

反対意見に対する反論を書いた方が読み手を納得させられる。



グループで推敲し合う場面を設定することで、読み手を意識した意見文の学習につながります。また、他者との対話を通じて、自分とは異なる考えを知り、学習を深めることができます。その際、「良い点」と「改善点」で付せんの色分けをしておくと、可視化を促します。どんな意見が役に立ったのかを自覚することで、自身の学びを実感することができます。

他の視点に立つことの重要性を理解

自分で伝えたいことを伝えられたと思っていたけれど、付せんをみると、伝わりにくい部分がどこか分かったよ。確かに、「～してほしいと思う」より「～していかなくてはならない」と言われた方が、意見が強調されると思ったよ。



具体的な数字は調べていたから、すぐに書き加えられるけど、反対意見は想定していなかったかな。どんな反対意見があるか友達に相談してみよう。

③【他教科や生活等と関連付ける工夫】

関連付ける

●社会生活と関連付け、多様な考えができる事柄について自分の考えを書く活動を取り入れる

国語・総合

自分の考え方の根拠を明確にし、新聞への投書を書こう



新聞の投書って、いろいろな立場の人から様々な意見があって面白いと思ったよ。納得できる投書もあったし、自分の考えとは違うと感じる投書もあったよ。



学年のみんなにアンケートをとってみたいな。その数値を根拠にすれば、自分の意見との関連を示して説得力が増すと思うよ。

賛成	63%
反対	21%
どちらでもない	16%



新聞の投書っていろんな題名があるよね。

「太鼓の音が聞こえない秋」
「神戸ビーフが給食に」
なんて、今年らしくて思わず目を引くね。読み手が読んでみたくなるように「題名」を工夫してみたい。

「～だろう」「～である」「～と考える」といった文末表現や、「例えば」「つまり」などの接続表現を工夫したいな。書く内容を項目にして、自分の視点からみんなの視点になるよう順序を考えてみるよ。



【ワークシートの例】

	第三段落	第二段落	第一段落
四 書類(原稿用紙) 五 工夫する自分の振り方			
三 構成文モ			

具体例として自分の体験を挙げてから、データを示したり他との関連を示したりすることで、読んだ人が納得できるような意見として、一般化することも大切ですよ。



多様な考えができる事柄について、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にし、自分の考えが伝わる文章になるように工夫します。その際には「推敲のポイント」で示した観点を使ったり、既習の説明的文章の書きぶりを参考にしたり、既習事項を取り入れながら書くようにします。意見文の学習での学びを生かし、言葉がもつ価値に気付き、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

(2) 中学校 国語②

学びに向かう力の
育成に着目した

必要な情報を複数の表やグラフの中から読み取り、 適切に記述するための授業

(1) 取り上げた問題（中学校国語 4の一）

- 必要な情報を複数の表やグラフの中から読み取り、適切に記述する問題
(→「ひょうごつまずきポイント指導事例集 中学校国語」p. 37 参照)



(2) 調査結果

正答率(%)			無解答率(%)			H27 調査(%)		
1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
31.5	39.1	50.9	5.5	4.7	3.0	29.3	37.2	46.6

(3) 生徒のつまずき

- 複数の資料や文章の情報を関連付けて考えることに課題が見られる。
- 目的や意図に応じて書く事柄を整理して書くことに課題が見られる。

(4) 学年・単元名（教材名）

第1学年『シカの「落ち穂拾い」—フィールドノートの記録から』（光村図書）
『調べたことを報告しよう レポートにまとめる』（光村図書）

(5) ねらい

- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える。
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。
- 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。

(6) 単元計画

- 文章を読み、構成を確認し、記述の特徴を知る（1時間）
- 説明の展開の仕方、図表の効果に着目して、内容をとらえる（2時間）
- 図表で示される事実と筆者の考察との関係をとらえる（2時間）

(7) 生徒が主体的に取り組むための工夫

①【見通し・振り返りための工夫】

●図表の情報を取り出し、本文との関連について考える

関連付ける

見通す



本文と図表を比べて、気付いたことや疑問に思ったことは何ですか。



図1から春に「落ち穂拾い」が多く見られることが分かるよ。



図2からは、春にはシカ本来の食物（イネ科の植物）が夏の約7分の1しかないことが分かるよ。



図表には筆者の意見の根拠がとても具体的に示されているよ。説得力があるね。



でも、図1では4月が一番「落ち穂拾い」が多いけど、他の月と比べると観察時間が短いよ。これだけで春に多いって言ってもいいのかな。



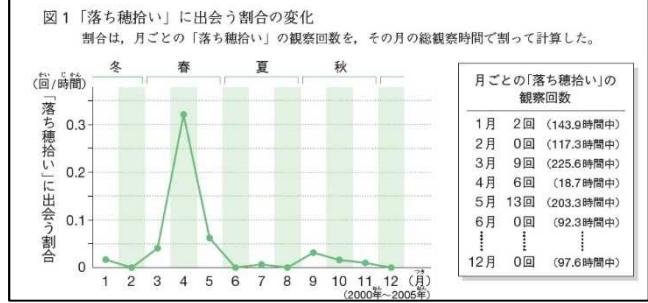
それに、表2で一年を通した栄養価の比較があるけど、採食した植物をまとめた表1を見ると、秋に採食したドングリなどの「堅果」に一番栄養があると考えられるよ。なのに、表2だけを見ると春の「葉」も同じように栄養価が高い印象を与えてしまうよ。

本文と図表の関わりに着目

図表の内容と本文とを比べて読むと、内容が良く理解できるね。
筆者が書いていることの中には、本当かどうか納得できない部分もあるよ。



図表の活用は、観察や実験の結果を読み手に的確に訴える効果があることを確認します。また、本文と図表とを関連付けて読むために、気付いたことや疑問に思ったことを基に図表に示された情報を的確にとらえるという学習の見通しをもたらします。



●図表に示される情報と本文における筆者の論理展開との関連に着目して学習の過程を振り返る

関連付ける



図表に示されている内容を自分の言葉で説明できましたか。また、それらと文章に書かれている筆者の考え方との関連について納得できましたか？

学習の前後で変容した気付きを小グループで交流します。その際、「分かったこと」や「できたこと」だけでなく、「学んだこと」や「考えたこと」についての充実感を促すよう、疑問や納得した部分、そうでない部分、思いや気付きといった思考過程が残るノートやワークシートを活用します。

【振り返りの記述例】

はじめは、図表は見やすくていいなと思っていたけど、示されている内容を言葉にすることで、どんな情報が書かれているのかが分かりました。また、図表同士や図表と本文の関わりを意識することで、筆者の主張に対して自分の意見をもつこができるようになりました。

②【分かる喜びを感じられる工夫】

●図表に示されている情報が筆者の主張の根拠として適切か、批判的に読み取る



写真や図表がたくさん使われていると、分かりやすい気がするね。

単元はじめの頃のつまづき
(図表を視覚的イメージだけで
とらえている)

関連付ける



筆者の主張と図表に示されている事実との関係を明らかにして、
それぞれの事実が主張の根拠として適切か、考えてみましょう。

図の情報を意識



「春は、シカの本来の食物が不足している」ことを立証するために、イネ科の草の供給量を図示するのは説得力があるね。

表1「落ち穂拾い」でシカが採食した植物

春 3月～5月	エノキ(葉) オオモミジ(葉) カマツカ(つぼみ・葉) クマノミズキ(冬芽) ケヤキ(葉) ソメイヨシノ(花・果実・葉) フジ(花) ブナ(花)
夏 6月～8月	ホオノキ(葉)
秋 9月～11月	アカガシ(堅果) ウラジロノキ(果実) エノキ(葉) オオウラジロノキ(果実) カキノキ(果実・葉) クマノミズキ(果実) クマヤナギ(葉) コナラ(堅果) ナラ類(堅果)
冬 12月～2月	エノキ(樹皮)

(2000年～2005年)

出典：『シカの「落ち穂拾い」－フィールドノートの記録から』
(光村図書)

「サルの落とす食物のほうが、
栄養価が高い」と書いているけれど、
その中でも秋のドングリなどの「堅果」の栄養価が特に
高いんだと思うな。春の「葉」と
イネ科の草に栄養価の差があるか疑問だな。

学習の調整



それは、図1と図3を一緒に見てみると解決できそうだよ。図3を見てみると、シカの体重は3月から5月にかけて急に増えているよ。だから、春に「落ち穂拾い」して採食した「葉」などの食物も栄養価が高いと言えるんじゃないかな。

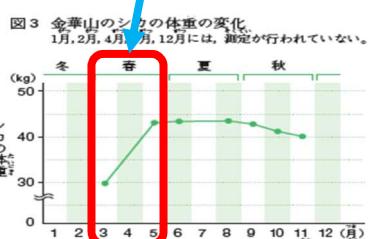
図表と図表、図表と本文とを関連付けて理解

でも、本文には『食物の乏しい冬の間に、秋までに蓄えた体脂肪を消費するため、春先は体重が軽くなる』と書いているよ。だから、シカの体重が春に増えているからと言って、春に「落ち穂拾い」した食物の栄養価が高いとは言えないのじゃないかな。それに、5月にはイネ科の草も増えているよ。



確かに。それなら、「一年を通して…エネルギー量が多い」と言うより、春に採食した食物で比較した方が、根拠がはっきりするかもしれないね。表1の3月～5月の採食した食物の栄養価を調べて表にすると、主張が正しいか分かりそうだね。

部でシカを調査している研究者は、同じシカの体重を、年に数回測定している。その記録を見ると、3月ころはシカの体重が非常に軽いことがわかる(図3)。食物の乏しい冬の間に、秋までに蓄えた体脂肪を消費するため、岩手県で行われたシカの体脂肪の測定結果からもわかつっている。春先は、一年の中で、シカの栄養状態が特に悪い時期なのである。



図表に示されている内容を言語化し、本文における筆者の主張と関係付けて考えることで図表の情報を読み取ることの理解を深められます。その際、本文と図表の根拠となる部分に線を引いたり、四角で囲んだりして、本文のどの部分と図表のどの部分が関連しているのかについて、視覚的に理解できるようにします。

出典：『シカの「落ち穂拾い」－フィールドノートの記録から』(光村図書)

③【他教科や生活等と関連付ける工夫】

●複数の情報を収集し、整理・分析してレポートを作成する

関連付ける

総合的な
学習の時間

インターネットを活用して、地域の産業と人口の変化を図表にしましょう。また、地域の人にインタビューをして地域の変化を調べ、情報を整理して「地域レポート」を書きましょう。

農作物出荷量	
1990年	10 t
2000年	8 t
2010年	11 t
2020年	12 t

人口	
1990年の人口	18,000人
2000年の人口	25,000人
2010年の人口	30,000人
2020年の人口	28,000人

地域の人へのインタビュー

「〇〇年にA社の工場ができてから、専業農家をやめて、兼業農家になった家が増えた気がするねえ…」



私たちの暮らす〇〇市について調べ、図表を使ってまとめましょう。
また、これから私たちはどのような町づくりをしていくべきか考えましょう。



私が通っている学校は10年前に比べて生徒数が増えているって聞いたことがあるよ。それに、家の人は「町が栄えてきた」って言ってたよ。



町が栄えてくるのはいいことなんだけれど、うちでは最近畑をやめてしまったんだよ。私たちの住んでいる〇〇市は名産物がたくさんあるはずなのに。うちみたいな家がたくさんあるんじゃないかな。〇〇市の農業が心配だな。



じゃあ、まず〇〇市の人口について調べて、次に、農作物の量についても調べようかな。町の人にインタビューをしてもいいかもしれないね。

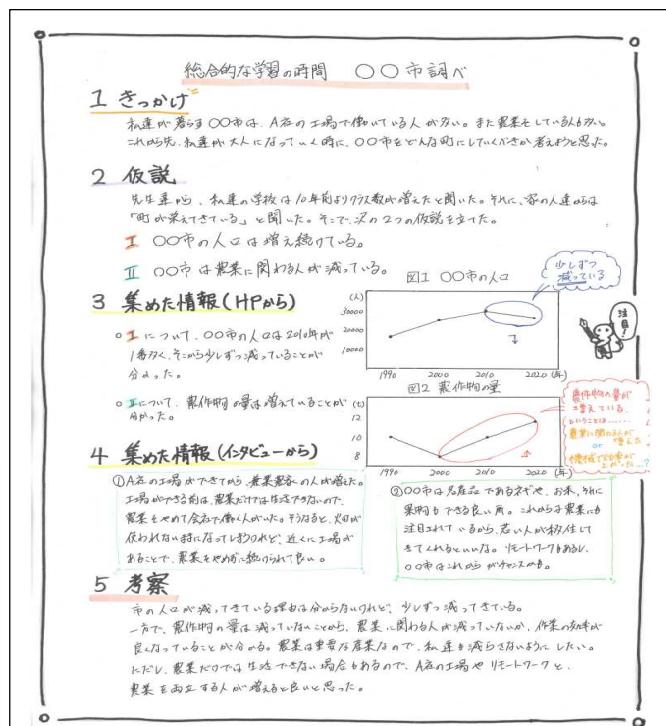


調査した情報同士を関連付けて分析してみましょう。

レポートは、仮説→検証（情報収集）→考察という順序でまとめて、小見出しをつけて見やすくするのがポイントですよ。

以前学習した『シカの「落ち穂拾い』と同じように、図や表に情報をまとめると、相手に正しく理解してもらうことができましたね。

集めた材料を整理し、情報と情報との関係を明らかにしてレポートにまとめることで、自分の考えを明確に伝えることができます。また、材料の選択や示し方、構成などについて工夫することで、日常生活に学びを生かし、相手を意識した文章を書くことにつながります。



(例) 図表を用いて書かれたレポート

(3) 小学校 算数①

学びに向かう力の
育成に着目した

数量の関係を文章や図から読み取り、式を立てる授業

(1) 取り上げた調査問題（小学校5年生算数 2の(1)②）

- ・数量関係を正しく表した図と式を結び付けて考える問題
(→「ひょうごつますきポイント指導事例集 小学校算数」p. 75 参照)



(2) 調査結果

正答率 (%)	無解答率 (%)	H27 調査 (%)
5年	5年	5年
64.3	2.1	(39.1)

(3) 児童のつまずき

- ・問題場面の数量関係を正しく表した図と式を結び付けて考えることに課題が見られる。
- ・「(整数) ÷ (整数)」の除法では被除数のほうが除数より大きくなると考え、大きい数から小さい数をわったり、問題文にててきた順に立式したりすることに課題が見られる。

(4) 学年・単元名（教材名）

第4学年 「小数のかけ算やわり算」（啓林館）

(5) ねらい

- ・小数と整数のかけ算やわり算について、整数の計算をもとにしてその計算の仕方を考えたり説明したりすることを通して、(小数) × (整数)、(小数) ÷ (整数) の計算や筆算ができるようになるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。

(6) 単元計画

- 1 小数のかけ算 (4時間)
- 2 小数のわり算 (8時間)
- 3 小数倍 (1時間)

(7) 児童が主体的に取り組むための工夫

①【見通し・振り返りのための工夫】

具體化する

構造化する

関連付ける

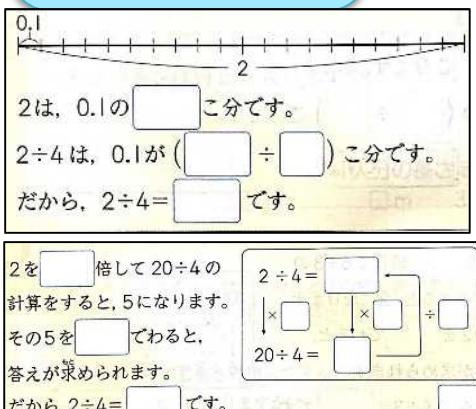
理由付ける

見通す

● 問題場面を解釈し既習との違いを考える

2mのひもを同じ長さに切って4人で分けます。1人分の長さは何mになりますか。

既習内容と比較し共通点や相違点を考えることで問題解決に向けた見通しをもつとともに、自らの学習を調整しながら小数のわり算の意味に気付けるようにします。



今まで習った方法で解けないかな。



1人分の長さの求め方は、これまでの方法と同じだ。



じゃあ、全体の長さ÷人数=1人分の長さだから $2 \div 4$ だね。

既習内容との関連付け

でも、2より4のほうが大きいのに $2 \div 4$ ってできるの？



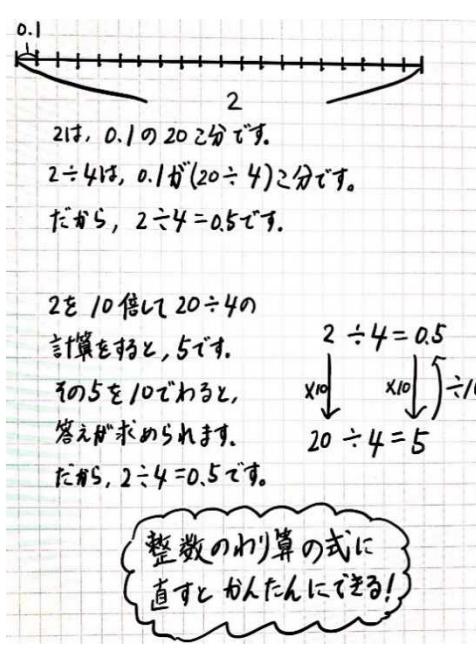
0.1をもとに考えたり、10倍して10でわったりしたらどうかな。



小数のかけ算の時と同じように図に表してみたらわかりそう。

学習の調整

● 商が小数となるわり算の計算の仕方をおさえる



どのような考え方を使って解きましたか。



0.1をもとに考えたら整数のわり算で解けました。



わられる数を10倍して商を10でわっても整数のわり算でとけたよ。



ということは、整数のわり算ができるように式を考えればよさそうだね。



今までに習った考え方を忘れないことも大切ですね。



他の問題でもできるかやってみたいです。

②【分かる喜びを感じられる工夫】 比較する 関連付ける 理由付ける 構造化する

●10分の1の位までの小数÷整数で商が小数になる計算の仕方を考える

0.2mのひもを同じ長さに切って5人で分けます。1人分の長さは何mになりますか。

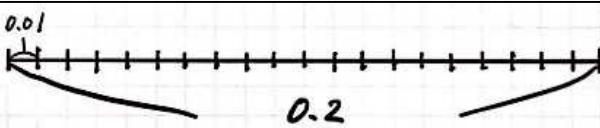


20÷5ならできるけど…

単元はじめの頃のつまずき
(ことばの式やテープ図をかいてないので
場面を具体的に捉えることができない)



0.2mを5人でどうやってわけるのかな。



0.2は、0.01の20倍です。

0.2÷5は、0.01の(20÷5)こ分です。

だから、 $0.2 \div 5 = 0.04$ です。

既習内容との関連付け

学習の調整

今回の問題は
0.01を単位として考えたらどう
かな。



0.2は0.01の20個分だから $0.2 \div 5$ は0.01
の $(20 \div 5)$ こ分だね。だから答えは0.04だ。

習った考え方をもとに考えてみると簡単にできるな。

他のやり方でも解いてみたいな？



100倍して100でわるやり方もできそうだからやってみよう。

0.2を100倍して20÷5の

計算をすると、4です。

その4を100でわると、答えが
求められます。

だから、 $0.2 \div 5 = 0.04$ です。

$$0.2 \div 5 = 0.04$$

$$\begin{array}{r} \times 100 \\ \hline 20 \end{array} \quad \begin{array}{r} \div 100 \\ \hline 4 \end{array}$$

問題を解く際に、前
の時間の計算の仕方
を想起することによ
って、小数のわり算
の意味を関連付け、
自らの学習を調整し
ながら小数のわり算
の意味の理解を深め
られるようにしま
す。

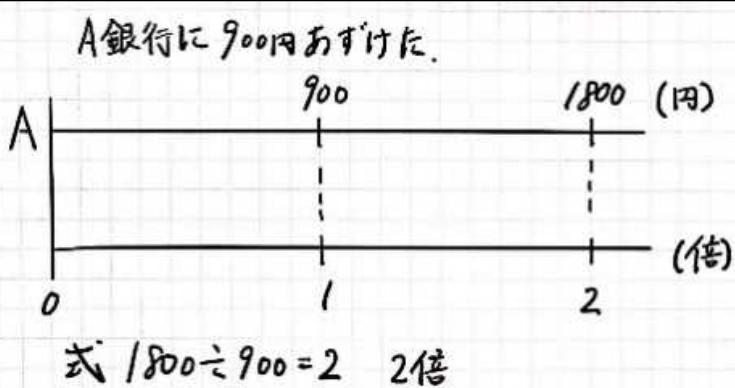
はじめは、小数をわることなんてできるのかなと思って
いたけれど、これまでに学習した計算の仕方を使うと、小
数のわり算の意味をさらに理解することができます。



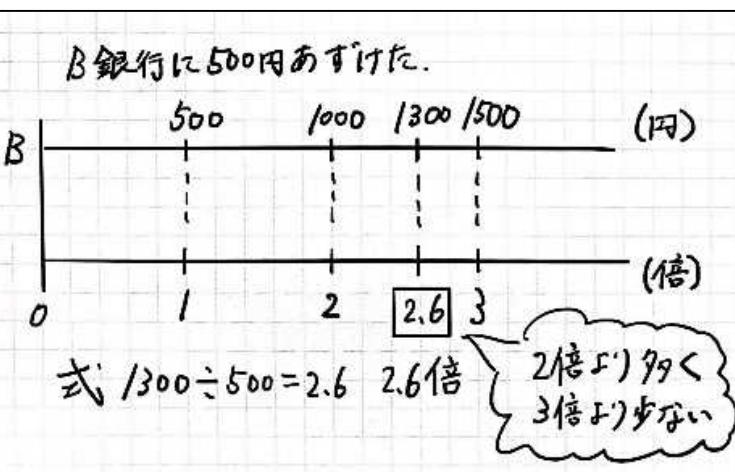
③【他教科や生活等と関連付ける工夫】 理由付ける 多面的に見る・多角的に見る

● 日常生活に関連した場面の設定 算数・生活等 比較する 関連付ける

子ども銀行のA銀行とB銀行があります。銀行にお金をあずけると利子がつきます。A銀行は1年で900円の利子がついて1800円になりました。B銀行は1年で800円利子がついて1300円になりました。あなたがお金を預けるとしたらA銀行とB銀行のどちらに預けますか。



A銀行に900円預けたから2倍になっているよ。



B銀行に500円預けたから2倍から3倍の間になりそうだね。

日常生活に関連した場面を提示することで、意欲的に問題解決を図るとともに、学びを生かしたり、算数を用いる意義や良さを実感できたりするようになります。



ということはB銀行の方が利子が多くつき違うのでB銀行に預けた方がよさそうだね。



いろいろな銀行の利子はどうなっているのかな。それについて調べてみたいな。

(3) 小学校 算数②

学びに向かう力の
育成に着目した

基準量と比較量（割合に当たる大きさ）の2つの数量の関係を、場面と図とを関連づけて理解するための授業

(1) 取り上げた調査問題（小学校6年生算数 3の(3)①）

- ・基準量と比較量（割合に当たる大きさ）の2つの数量の関係を、場面と図とを関連づけて考える問題
(→「ひょうごつますきポイント指導事例集 小学校算数」p. 47 参照)



(2) 調査結果

正答率 (%)	無解答率 (%)	H27 調査 (%)
6年	6年	6年
41.9	0.7	49.3

(3) 児童のつまずき

- ・問題文にある2つの数量のうち、どちらが基準量（基準にする大きさ）であるか正しく判断できることに課題が見られる。
- ・基準量と比較量（割合に当たる大きさ）の2つの数量の関係を、場面と図とを関連づけて理解することに課題が見られる。

(4) 学年・単元名（教材名）

第5学年 「割合」（学校図書）

(5) ねらい

- ・割合について、その意味や百分率などの表し方を理解し、割合を使った問題や割合が増減する問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を豊かで確かにするとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。

(6) 単元計画「割合（1）（2）」

- (1) 1 割合（2時間）
2 百分率と歩合、学びをいかそう（3時間）
- (2) 1 2つの量の割合（1時間）
2 割合を使った問題、学びをいかそう（5時間）

(7) 児童が主体的に取り組むための工夫

①【見通し・振り返りのための工夫】

見通す

比較する

順序付ける

● 割合を用いなければ問題解決が図ることができない場面を提示する

バスケットボールの試合でのシュートの記録数を表に表しました。

だれが一番シュートの成績がよいといえるでしょうか。

	シュートした数 (回)	入った数 (回)
だいち	10	6
ゆいと	10	5
ひろき	8	5

シュートが入った数が1番多い人のことかな?



だいちくんが、6回で1番多いよ。

ひろきくんは3回しかシュートを外していないよ。だいちくんは4回も外しているのに成績がよいといえるのかな?



シュートが入った数だけを比べても、よい成績かどうかわからないよ。



シュートした数がそれ違うから、シュートした数に対してどれ程シュートが入ったかを考えるといいね。



もとにする量に着目

学習の調整

シュートした数をもとにして考えればいいんだ。



シュートが入った数だけを比べても、成績がよいかどうかが分からぬことから、シュートした数に対してどれ程シュートが入ったかに着目して考える等、自らの学習を調整しながら割合の意味に気付けるようにします。

● 基準量と比較量の関係を整理し、割合の考え方をおさえる。

シュートした数（基準量）

入った数（比較量）

○ ○ ○ ○ ○

× × × × ×

シュートが入った数（基準量）をシュートした数（比較量）でわれば、シュートの成績が分かるね。



わり算で求めた値が大きいほど、シュートの成績が良いと言えるね。



②【分かる喜びを感じられる工夫】

関連付ける

理由付ける

構造化する

● 割合の意味を意識しながら図に表す

5年1組の学級園 120m^2 のうち、 75m^2 には、じゃがいもを植えており、残りはたまねぎを植えています。

じゃがいもを植えている広さは、全体の何%でしょうか。



何を何で割ればいいんだろう？

単元はじめの頃のつまずき
(数量の関係を考えずに計算をしようとしている)



何を基準にして、何を比べようとしていますか？

「全体の何%か」を聞いているから…。全体の広さから見て、じゃがいも畑がどれくらいかを考えればいいんじゃないかな。

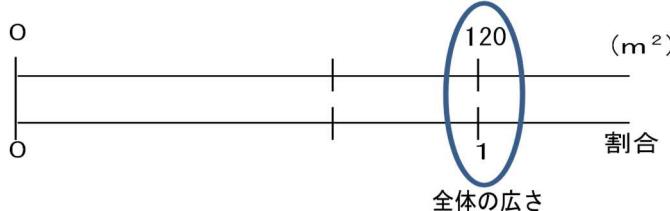
図を使って考えてみると数の関係が分かりやすそう。



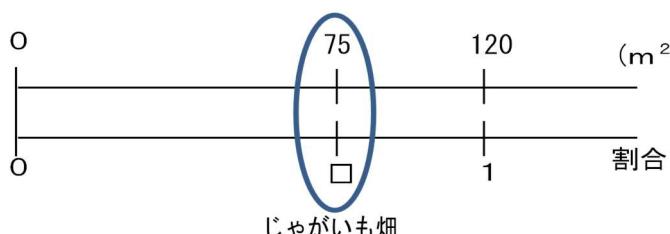
もとになる数を意識

学習の調整

数量の関係と計算を関連付けて理解



全体をもとにするから、1に対応するのは、全体の広さ 120m^2 だね。



120を1として見ると、75の時の割合は、 $75 \div 120$ と考えればいいね。

図に表す際に、割合の意味を関連付けて考えることで、自らの学習を調整しながら割合の計算の意味理解を深めていけるようにします。

はじめは、とにかくわり算やかけ算をしないといけないと思っていたけど、「もと」になる数が何かを考えて図を書くことで、どうして「何÷何」になるのかが分かりました。

③【他教科や生活等と関連付ける工夫】

算数・生活等

比較する

理由付ける

構造化する

関連付ける

● 様々な条件をもとに問題解決を図る、生活に関連した場面の設定

2000円を持ってケーキを買いに行きます。どのようにケーキを買うと最もお得な買い方ができますか。（どの店もケーキの大きさや品質は同じものとします。）

A店

B店

C店

1個190円
今だけ全品2割引き

どれでも1個200円
1000円買うごとに
250円引き

1個220円
2~4個買うと1割引き
5~10個買うと2割引



A店は2割引きだから、
 $190 \times (1 - 0.2) = 152$ 1個152円だね。



B店は、1000円買うごとに250円引になるね。だから、
 $250 \div 1000 = 0.25$ となり、2.5割引きともいえるね。
 $200 \times (1 - 0.25) = 150$ 1個150円だね。



C店は1個220円だから、10個は買えないかな。
でも、11個以上買うと4割引きだから、 $220 \times (1 - 0.4) = 132$
1個132円だと、15個買っても1980円だから大丈夫！
1個132円だから、C店が一番お得だね。

複数の条件をもとに問題解決を図る場面を提示することで、粘り強く問題を解決し続けるとともに、学びを生かしたり、算数を用いる意義や良さを実感したりするようにします。

そう言えば、服が安売りされていたなあ。ケーキと同じように、
服や他の物でもお得な買い方を調べてみたいな。広告を見て考えてみようかな。



複数の条件をもとに問題解決を図る場面を生活場面に広げ、活用して考える探求的な活動につなげていくようにします。

(4) 中学校 数学①

学びに向かう力の
育成に着目した

2つの数量の関係を読み取り、その関係を式で表すため の授業

(1) 取り上げた調査問題（中学校1年生数学 8の(2)、(3)）

- 文章から2つの数量の関係を読み取り、その関係を式で表すことを考える問題

（→「ひょうごつますきポイント指導事例集 中学校数学」p. 47 参照）



(2) 調査結果

	正答率 (%)	無解答率 (%)	H27 調査 (%)
1年	1年	1年	1年
(2)	25.6	17.5	30.9
(3)	14.1	26.9	15.4

(3) 生徒のつまずき

- 文章から2つの数量の関係を読み取り、その関係を式で表すことに課題が見られる。
- 式、表の関係を正確にとらえることに課題が見られる。

(4) 学年・単元名（教材名）

第1学年 「変化と対応」『比例』（啓林館）

(5) ねらい

具体的な事象のなかにあるともなって変わる2つの数量に着目して、比例や反比例の関係を見出し、その変化や対応の様子を考察することを通して理解を深め、利用できるようにする。

(6) 単元計画

- 関数（3時間）
- 比例（6時間）
- 反比例（4時間）
- 比例と反比例の利用（2時間）

(7) 生徒が主体的に取り組むための工夫

① 【見通し・振り返りのための工夫】

見通す

関連付ける

比較する

● 身近で負の数を扱う比例関係の例を提示する

Aさんは登山中に気温が下がっていくことに気がつきました。地上は標高 0mで 22°Cでしたが現在標高 600mで 18.4°Cです。山頂(標高 1510m)の気温はどうすれば求められるでしょう。



どうすれば考えられるかな。



600mで -3.6°C ということは 100mで -0.6°C だね…この関係を使ってみよう。



200m上がるに -1.2 になりそうだね。標高と下がる温度の関係をまとめてみよう。

2つの数量関係を
関連付ける

学習の調整

標高(m)	100	200	300	…	1510
	-0.6	-1.2	-1.8	…	?

2倍 3倍
2倍 3倍

2つの数量関係を表
やグラフで表すこと
で、小学校の学習に
関連付けます。



標高が2倍、3倍になると、気温差も2倍、3倍になっているね。これはたしか…

既習事項と
関連付ける

学習の調整



小学校の時に習った比例関係だね。負の数
でも同じような例があるんだね。

見方を変え
『縦の関
係』に注目する

学習の調整



思い出した! たしか一方に決まった数を
かけると、もう一方が求められるんだっ
たね。



そうだね。『縦の関係』に注目すると、
関係を表す式が作れるんじゃないかな。

100	200	300	…	1510
-0.6	-1.2	-1.8	…	?



表の『縦の関係』に注目し
て数量の関係を式で表す
と、いろいろなケースに使
えることが分かったよ。

2つの数量関係を式で表すため、自らの
学習を調整しながら『縦の関
係』に注目するようにします。別の高さの山で気温
を考えるなど式の有用性にも触れます。

②【分かる喜びを感じられる工夫】

比較する

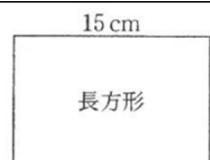
関連付ける

抽象化する

● 与えられた情報から2つの数量の関係を正しく見抜く

厚さが一定のアルミ板から、右の2つの形を切り取りました。(ア)の重さが24gのとき、どうすれば(イ)の面積を求められるでしょうか。

(ア)



(イ)



数量の関係を式にする
コツはないのかな。

単元はじめの頃のつまずき

(比例だと気づいても数量の関係を表す式が作れない)



こんな形の面積が本当に求められるのかな。



(イ)の重さは量れるよね。重さと面積の関係はどうなっているのかな。



同じ厚さのアルミ板からできているということは面積を2倍にすると重さも2倍だね。



比例の関係ね。『縦の関係』が大事だったね。重さに何をかけば面積になるかな。



表がないのにどうすればいいのか。



『縦の関係』を表す式の形は習ったよね。(ア)の面積は求められるから…。

条件から数量の
関係を見抜く

学習の調整

既習事項から
見通しをもつ

学習の調整

1 g のアルミ板の面積を考えるのではなく、関数としてとらえる考え方をすることで、一次関数などに繋げます。

式の有用性
を理解する

学習の調整

(ア)の面積は $15 \times 10 = 150 \text{ cm}^2$ 、重さは 24g
面積が重さに比例する $\rightarrow y = ax$
この式に(ア)の情報を代入すると、
 $150 = 24a$
 $a = \frac{25}{4} \leftarrow (\text{比例定数})$
よって、 $y = \frac{25}{4}x$ の x に(イ)の重さを代入する。

比例関係に気が付けば、比例の式（縦の関係）を使って、条件から比例定数を求められること、また、式を使うと、一方の数量が分かれれば他方の数量を求められることが分かりました。



意見を出し合い、学習を調整する中で、関数を利用する方法が見通せるように工夫します。

③【他教科や生活等と関連付ける工夫】 具体化する 関連付ける 比較する

特別活動

● 大量の物を数えるなどの場面に関連した例

クラスでペットボトルのキャップが大量に集まりました。個数を概数で報告しなければなりません。どのように考えればいいですか。



すごくたくさんの量だね。どうすれば数えられるかな。



他に分かることはないかな。重さは量れそうだね。



キャップ1つの重さで全体を割るんだね。



でもキャップの重さは1つ1つ異なるよね。色々なキャップ10個くらいを量ればどうかな。



重さと個数の関係を使うと良さそうだね。表にすると関係が見やすいんだよね。

実際にキャップを量り、それぞれの方法を吟味することで、問題解決の方法を粘り強く考えます。

個数(個)	10	20	30	100	?
重さ(g)	32	64	96	320	42240

表を利用して数量の関係を考える

学習の調整



今まで学習してきたことだよね。縦の関係をみるとどうなっているかな。

3.2倍

10	20	30	100	?
32	64	96	320	42240

より正確に結果が導けそうな個数の基準や、キャップの選び方を考えます。

式の一般性を利用する

学習の調整



実際の重さを3.2で割れば個数が求められるね。これは他のクラスにも利用できるね。



身近にある、比例関係のものを見つけて、自分で問題を作ってみましょう。



お風呂にお湯がたまる様子、行列の人数と待ち時間、速さと道のりの関係…何について問題を作ろうかな。

大量の物の数を求めるといったような「日常の問題」を考えることで、単元の意義を見出します。さらに自らの学習を調整しながら、表を利用して数量の関係を見やすくしたり、式の一般性の良さに気付いたりするようにします。

(4) 中学校 数学②

数量関係を文字で表すための授業

学びに向かう力の
育成に着目した

(1) 取り上げた調査問題（中学校2、3年生数学 4の(3)）

- ・数量関係について文字を使い式や等式に表すことを考える問題
(→「ひょうごつますきポイント指導事例集 中学校数学」p. 13 参照)



(2) 調査結果

正答率 (%)		無解答率 (%)		H27 調査 (%)	
2年	3年	2年	3年	2年	3年
20.8	26.2	20.2	17.9	16.8	22.8

(3) 生徒のつまずき

- ・数量関係について、文字を使って式や、等式に表すことに課題が見られる。
- ・文字式が表す数量関係を読み取ることに課題が見られる。

(4) 学年・単元名（教材名）

第1学年 「文字の式」（『数量を文字で表すこと』（啓林館））

(5) ねらい

- ・文字を用いて数量関係を表すことを通し、文字を用いることのよさや必要性に気付く。
- ・文字の式を利用するための基礎的な技能を身につける。
- ・文字式に対する理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。

(6) 単元計画

- 1 文字を使った式（7時間）
- 2 文字式の計算（8時間）
- 3 章末問題（2時間）

(7) 生徒が主体的に取り組むための工夫

① 【見通し・振り返りのための工夫】

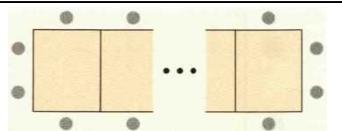
比較する

関連付ける

見通す

● 文字を用いて問題解決をしなければならない場面を提示する

右の図のように机を並べて座ります。座る人数は何人でしょうか。



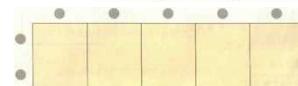
机の数がわからないから人数を求められないよ。



もし机の数が2個だったら8人になるね。



机の数が5個だったら14人だね。



机の数ごとに数えていたら大変だし、机の数が多くなったら数えられないよ。

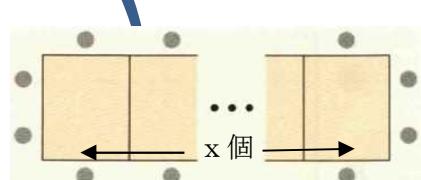


机の数がいくつであっても人数を求める方法はないかな。



前に習った文字を使って数量を表してみたらどうだろう。たとえば、机の数を x とおいて人数を表せばどうかな。

既習事項の振り返り



文字式に表しておけば、机の数が2個の時も、5個の時も、机の数を x に代入して人数が求められるね。

既習事項の振り返り



決まっていない数量や、分からぬ数量を文字で置けば求めたい数量を表すことが出来るんだ。

具体的な事象から数量関係のイメージをもつ

学習の調整

文字式を使って表現したい数量を表現する

学習の調整

具体的な事象の場合と比較することで、文字を用いて数量関係を表すことの見通しをもつとともに、既習事項を振り返ることで、学習内容と関連付け、自ら学習を調整しながら文字式の表し方のよさに気付けるようにします。

＜文字を使って数量関係を表すよさについて、「既習事項の振り返り」から気付く＞
 ①具体的な数量が分からなくてても、表現できる点
 ②具体的な数量が分かるときには、代入で数量を求めることができる点

③【分かる喜びを感じられる工夫】

関連付ける

多面的に見る

● 図を用いて文字式で数量を表したり、式を計算したりしてそのよさを理解する

机の数を x 個としたとき、その周りに座る人数を x を使って表しなさい。



机の数によって変わる人数をどう表せばいいんだろう？

単元はじめの頃のつまずき
(文字を使って数量を表せずにいる)



どのように考えたら、 x を使って人数を表せますか？



A 図の上側と下側には x 人、左側、右側には 2 人座っているから、 $x + x + 2 + 2$ (人) になるよ。



B 机の上側と左側には $x + 2$ (人) 座っていて、下側と右側にも同じだけ座っているから、 $2(x + 2)$ (人) だよ。



C 左側、右側に座っている 2 人ずつを別に考えて、ひとつの机に 2 人座っていると考えると、 $2 + 2x + 2$ (人) と考えることができるね。

学習の調整

図を利用して式と
図を関連付ける

学習の調整

文字式を比較することで
有用性の理解に繋げる

	A	B	C
図			
人数の式	$x + x + 2 + 2$	$2(x + 2)$	$2 + 2x + 2$



どの考えも正しいように思えるけど、色々な式が出てきてどれが正解かわからんないよ。
答えを一つにすることが出来ないのかな。



ちょっとまって。文字式は計算できたから、それぞれの式を計算してみたらどうだろう。



どれも $2x + 4$ (人) になった！同じ式だったんだ！



正しく考えて式に表せば、形は違うように見えても、計算して同じ式になるんだね。それに、求めた式を計算して簡単にすることは、他の考え方と比較するのに使えるし、式も簡単になって代入しやすくなったね。

図に表して数量を考えさせ、導いた式が同じであることから、式で表し簡単にすることのよさや必要性を感じられるようにします。

はじめは、どうやって文字を使って式に表したら良いかわからなかったけど、図を書いて考えれば式が求められ、計算して式を簡単にしてから代入すると計算できることがわかりました。



④【他教科や生活等と関連付ける工夫】

● 生活に関連した場面を設定し、文字式の表す数量の意味の理解を深める

数学・生活等

比較する

関連付ける

多面的に見る

文化祭で正方形の画用紙を、その一部が重なるようにしてマグネットでとめた掲示物を作成します。 x 枚の画用紙をとめるのに必要なマグネットの個数を x を使って表しなさい。



机の時と同じように、文字 x を使ってマグネットの個数を表せばいいんだね。横の列で考えると、一段目は x 個、二段目は $x+1$ 個、3段目は x 個だから、 $x+(x+1)+x$ (個)になるよ。



1枚の画用紙をとめるのに、4個のマグネットが必要になるよ。でも、真ん中の所は2回数えているから、その分をひくと $4x-(x-1)$ (個)になるね。

図		
マグネットの数	$x+(x+1)+x$	$4x-(x-1)$



どちらの考え方も式を計算すると $3x+1$ (個)になって同じだね。でも、この $3x+1$ っていうのはなんだろう。



就这样，1枚の画用紙を3個のマグネットでとめて、数えていない1個をあとから足したと考えた場合の式と同じだね。計算した式も意味があるんだね。



文字を使ってマグネットの数を表すと、式を簡単にできるのは、机の時と同じだね。それに、数量を文字を使った式で表すと、代入もしやすくなる。文字式を使うと便利なことがたくさんあるね。他にも使えることはあるかな？

生活の中にある数量を文字式で表して、意味を考えることで、文字式と数量を関連付けたり、多面的に見たりして、文字式を用いることのよさや必要性を実感できるようになります。



文化祭の掲示物でこんなものも作ろうと思うんだけど、上の時と同じように、マグネットの数を画用紙の枚数(x 枚)を使って表せるかな？



学習した文字式を実際の生活場面で活用できるようにします。また、実際に活用したとき、式の意味と数量を比較して文字式の有用性を感じられるようにします。

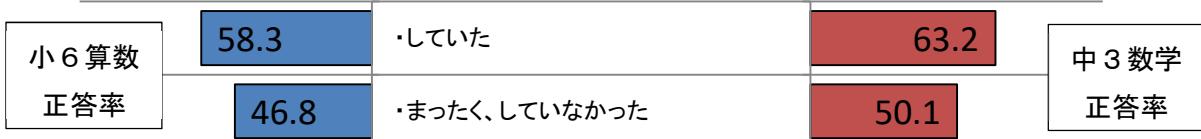
V 「学びに向かう力」の育成に向けた指導・支援の充実

1 児童生徒への指導・支援の充実

◆令和2年度小・中学校における新型コロナウィルス感染症の影響に関する調査結果を踏まえて◆

○ 「タイムマネジメント力」の育成

◎臨時休業中、自分で計画を立てて、時間を決めて勉強をしていましたか



目標を設定し、計画にしたがって目標達成のために時間を管理するという過程を通して、見通しをもつ姿勢や最後まで取り組む姿勢等も身に付く可能性があります。教育活動の中でも、そのような「タイムマネジメント力」を育んでいきましょう。

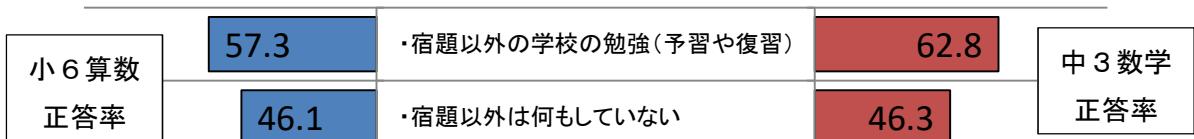
- ・目標を設定し、「①予定を立てる→②予定どおりに実行する→③実行できなかった部分を振り返る→④改善点を反映させて再び予定を立てる」といった PDCA サイクルを繰り返すという取組を教育活動の中で意識的に取り入れていますか？
- ・児童生徒が計画通りに進められない時には、個別最適化された学びとなるように支援していますか？

○ 課題（宿題）の質の向上

【参照：H21 指導資料



◎臨時休業中、家では、学校で出された宿題以外にどんな勉強をしていましたか



児童生徒が課題（宿題）をやり抜くを通して、学習習慣や努力する姿勢を身に付けることが期待できます。課題（宿題）提出後には、適切に評価して、児童生徒が継続して取り組めるよう達成感や成就感を味わわせることを心がけましょう。

- ・漢字や計算のドリル等、習得型の課題（宿題）には、間違えた問題に対して、どこでつまずいたのかをきちんと分析することの大切さも併せて指導していますか？
- ・探究型の課題（宿題）には、探究型学習のモデルを提示して、「問い合わせ方」や「何を」「どのように」学べばいいのかという「学び方」を事前に指導していますか？

○自己有用感の育成

◎新型コロナウイルス感染症で休みが始まった3月から、今まで振り返って、自分のできることは、がんばったと思いますか

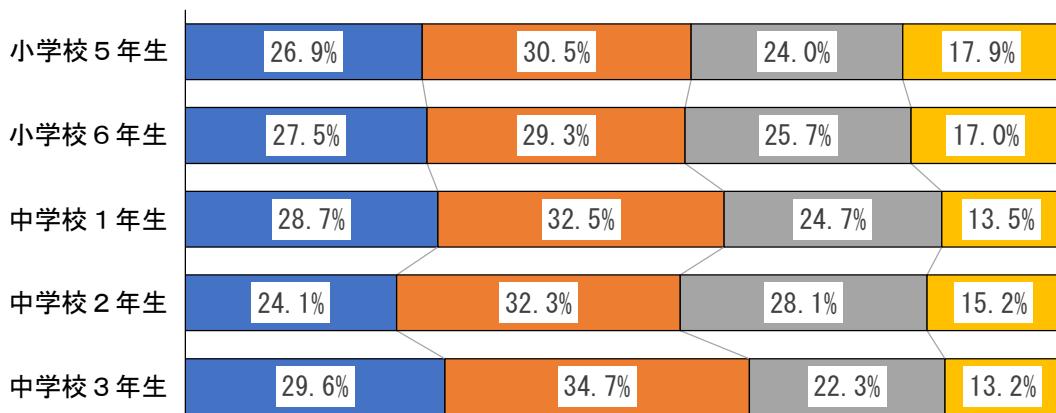
小6国語 正答率	70.5 56.6	・そう思う ・まったく、そう思わない	61.9 55.9	中3国語 正答率
-------------	--------------	-----------------------	--------------	-------------

「学びに向かう力」の育成のためには、他者から認められたいという社会的・人格的欲求が満たされているかということも関係があります。児童生徒の情意や態度に関わることなので、一人一人と向き合い、日常の中で自己有用感を育んでいきましょう。

- ・単に「良かった」、「悪かった」という評価になってしまいませんか？
- ・児童生徒が努力してやり遂げたり、こだわって工夫したりしたところをしっかりと確認し、適切なタイミングで認めていますか？

臨時休業中の子ども達の思いは？

◎新型コロナウイルス感染症で学校が休みだったので、勉強を直接教えてもらえたかったことが残念だと思いましたか



■そう思う ■どちらかといえば、そう思う □あまり、そう思わない ■まったく、そう思わない

「勉強を楽しいですか」(p.6)、「自分で計画を立てて、時間を決めて勉強をしましたか」(p.10)の質問では、学年が上がるにつれて、肯定的な回答の割合が減少する傾向が見られました。しかしながら、上記の質問は、小学生より中学生の方が肯定的な回答が多い結果となりました。

進路選択を控えた中学校3年生と入学したものの学校で学習する機会のなかった中学校1年生が、臨時休業中に抱いた素直な気持ちの表れだと捉えることができます。

2 児童生徒を取り巻く教育環境の充実

○ キャリア教育の推進

【参照：H31 指導資料



児童生徒が、将来において学習したことが役に立つと感じ、目的意識をもって学び続け、それぞれの自己実現が図れるように、特別活動を要としつつ各教科の特質に応じてキャリア教育を充実させましょう。

- ・キャリア教育と関連付け、今の学びが将来とどのように結び付いているのかを意識させ、児童生徒が自らの成長を実感できるような教育活動を実践していますか？
- ・「キャリア・パスポート」を活用して児童生徒の成長を記録し、各学年や校種をつなぐ取組をしていますか？

○ 自他を尊重する学級づくり

【参照：H30 指導資料



一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識しながら学ぶためには、学びの土台となる学級が安心して過ごせる場であることが不可欠です。自分や他者のよさに気付き、自他ともにかけがえのない存在であることを理解できるような学級づくりを進めましょう。

- ・多様性を認め、尊重し合う集団づくりを意識していますか？
- ・児童生徒が失敗や間違いをしても、それを受け入れられる寛容な集団づくりをしていますか？

○ 家庭・地域との連携

【参照：H29 指導資料



家庭や地域の人たちとともに児童生徒を育していくという視点に立ち、理解と協力を得るために、「目指す児童生徒の姿」を共有しながら、家庭、地域社会との連携を深める取組を進めていきましょう。

- ・児童生徒の状況などについて、良かったことなども家庭と情報共有していますか？
- ・地域の方などを招聘し、身近なロールモデルとの出会いの場を設定していますか？
- ・高齢者や異年齢の子どもなど、地域における世代を越えた交流の機会を設け、児童生徒が認められる場づくりをしていますか？

VI 資料

「学習評価」リーフレット（令和2年度作成）

今年度、「学習評価」に関するリーフレットを作成しました。県内の各学校にも送付していますのでご活用下さい。

③ 主体的に学習に取り組む態度の評価って？

主体的に学習に取り組む態度では、
① 知識及び技能を把握したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強く学習に取り組む態度
② の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする態度
という二つの側面を評価することが求められます。

【イメージ】

授業においては、
①児童生徒が自らの理解の状況を振り返ることができるような発問をする
②自らの考えを記述したり話し合ったりする場面、他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場を、単元や課題などの内容のまわりの中で設ける
等の工夫が求められます。

主婦的に学習に取り組む態度の評価画面（例）

新たに知った言葉を紹介する～聞き手を意識して話す～（中学校国語第1学年）
「主体的に学習に取り組む態度」が表れている姿を
練習を通じて相手に伝わるような表現の工夫を考え、発表会に間に合うように選んだ言葉を紹介しようとしている姿

と段々

单元を構成する際に、評価場面や生徒の姿を具体的にイメージしておくことが大切です

取り組き
スピーチ練習を繰り返して表現を考えたり盛り上げたりしている
【スピーチ練習の姿】

自らの学習の経験
表現の都合をうながしながら自分の意見をまとめておきながらまとめるよとしている
【ワークシート】

学習指導要領の改訂に伴い
「評価の観点」が変わります

中学校では令和3年度から
（小学では令和2年度から）

○「指導と評価の一体化」に向けて、学習評価の目的を再確認しましょう
→ ① 学習目標とは？

○新しい評価の観点の内容や評価方法について確認しましょう
→ ② 新しい「評価の観点」って？

○新しく示された「主体的に学習に取り組む態度」については特に留意しましょう
→ ③ 主題的に学習に取り組む態度の評価って？

① 学習評価とは？

学習評価は、学校における教育活動に随し、生徒の学習状況を評価するものです。
学習評価を行うにあたっては、
・生徒はどういった方が身に付いたか？を的確に捉え、指導の改善を図る
・生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようになります
これが大切です。

「学習評価」と聞いて、こんなイメージはありますか？

定期テスト？
通知表？
成績？

評定等の成績を付けるためだけの評価に終わることなく、生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、生徒が学習したことの意義や価値を実感できるようにすることで、自分自身の目標や課題を持って学習を進めていくようになることが大切です。

兵庫県教育委員会

この取り組みは開拓し合っています！

たり、思考力、判断力、表現力等を育成したりする場面に関わって行います。
などによりバランスのとれた資質・能力の育成を図るという視点が重要です。

このことから

単元末や学期末、学年末の結果として算出された評価の結果について、原則、「GCA」や「AAC」といった大きな差はないものと考えられます。

令和2年度学力向上実践推進委員会

●学識経験者 委員長	志水 宏吉	大阪 大学 大学院 教授	授
副委員長	吉川 芳則	兵庫 教育 大学 大学院 教授	授
	佐藤 真	関 西 学院 大学 高大接続センター副長・教授	
●学校関係者	岡部 恭幸	神 戸 大学 大学院 教授	授
	大塚 昭宏	兵 庫 教育 文化 研究 所 事務局長	事務局長
	鍛示 芳子	姫 路 市立 船 場 小 学 校 校長	長
	小室 浩二	姫 路 市立 飾 磨 東 中 学 校 校長	長
●国語部会	本家 由美	姫 路 市立 高 岡 小 学 校 校長	諭
	坂下 香織	豊 岡 市立 豊 岡 小 学 校 校長	諭
	池原 征紀	芦 小屋 市立 精 道 中 学 校 校長	諭
	友定 美紀	小 野 市立 旭 丘 中 学 校 校長	諭
●算数・数学部会	福田 裕子	県 立 教育 研 修 所 指導主任	指導主任
	久保田 健祐	西 宮 市立 鳴 尾 東 小 学 校 校長	諭
	浅田 大輔	姫 路 市立 花 田 小 学 校 校長	諭
	藤本 久司	豊 岡 市立 豊 岡 南 中 学 校 校長	主幹教諭
	足立 宗之	丹 波 市立 島 中 学 校 校長	諭
	田中 賢司	県 立 教育 研 修 所 指導主任	指導主任

学びを支え高め合う「新はばタン・モデル」

学校全体で学力向上を推進するためには、きめ細かな学習指導や、人間的なふれあいに基づく生徒指導などの「学びのアクション」を両輪として、教職員の主体的・協働的な学校づくりへの参画などの「学びのビジョン」、校種間・地域の連携などの「学びのリレーション」を充実させることが大切です。

学びのビジョン

心通い合う学校経営

- 学校づくりへの教職員の主体的・協働的な参画
- 社会に開かれた教育課程の理念を実現するカリキュラム・マネジメントの確立

指導力を高め合う校内組織

- 学習や生活の基盤づくりに向け、指導力向上を図る研修の充実
- 教職員の高いモラルと相互に学び合う同僚性

安心して共に学び合う学校環境

- 認め合い・育ち合う活気に満ちた学年・学級経営
- 規律や伝統を重んじ、安心して学べる学校風土

学びのアクション (生徒指導)

人間的なふれあいに基づく生徒指導

- 児童生徒理解を深化させ、集団生活における自己の存在感を高める取組
- 共感的な人間関係の育成や自己の可能性の開発の援助

豊かな体験を通した心の教育

- 自立心、自己肯定感、成就感、規範意識等を育む体験活動
- 生命を大切にし、人権を尊重するなど豊かな心を培う取組



学びのアクション (学習指導)

学力や学習状況の把握に基づくきめ細かな学習指導

- 全ての学習の共通基盤とする資質・能力の計画的・体系的な育成
- 各教科の特質に応じた見方・考え方の育成

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- 既に行われている学習活動の質の向上
- 教える場面と思考・判断・表現させる場面を効果的に設計・関連させた指導

学びのリレーション

学びの連続性を踏まえた校種間連携

- めざす児童・生徒像、指導観、指導方法等の共有
- キャリア教育の視点から学習への目的意識を持たせる系統的な指導

参画と協働による地域連携

- 教育課程を介した目標の共有
- 地域住民の支援・協力を得た開かれた学校づくり
- 地域人材・資源・教材を生かした教育活動

信頼関係に基づく保護者連携

- 保護者の教育目標や教育活動への理解ヒートマップに基づく支援
- PTA等のネットワークを生かした教育活動